

## 6月29日(土) 第63回総会 心ズキズキワクワク

### 小山 堅さん (76期) が講演

#### 演題：激動の内外エネルギー情勢をどう見るか

関東同窓会では6月29日(土)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で第63回総会を開催します。昨年同様、コロナ禍以前の形式での開催となります。小山堅さんの講演に続いて総会、アトラクションは鏡味正二郎さんの太神楽と、同窓生で立川流の落語家、立川談慶師匠(82期)の夏の一席、そして立食形式での懇親会です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

### 太神楽と落語も 立川談慶師匠の演目は



小山 堅さん

講師の小山堅さんは、上田三中出身で高校時代は軟式テニス班、早稲田大学院経済学研究所修士課程修了後、(財)日本エネルギー経済研究所に入所し、国際エネルギー情勢の分析とエネルギー政策の研究に邁進され、2001年には英国ダンディ大学博士号(PhD)を取得、現在、専務理事 首席研究員として活躍されています。2023年にはOPEC(石油輸出機構)賞の研究賞を受賞されました(アジアからは初めての受賞者、会報107号参照)。講演会では、エネルギーを巡る国際情勢の変革期で厳しさを増す世界のエネルギー地政学において、政治・経済・社会の現実を冷静に読み、変化を見据えた対応を打つための前提となる最新のエネルギー情勢についてお話ししていただ

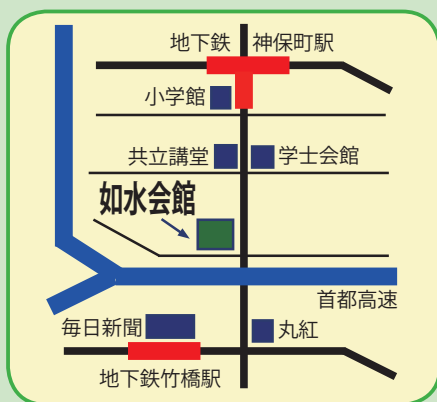
く予定です。

総会に続いては、落語の前座として、江戸末期からの寄席芸能(伝統芸能)である太神楽を太神楽曲芸師の鏡味正二郎さんに披露していただきます。そして立川談慶師匠(82期)の落語です。談慶師匠は2020年の新年会以来4年ぶりの登場です。演目は当日のお楽しみみです。存分に楽しんでいただけるはずです。

懇親会は卒業期ごとにテーブルを用意します。同期会としても交流を深めていただけますので、ぜひ、第63回総会へご参加ください。



立川談慶さん



### 第63回総会

- 【日時】 2024年6月29日(土)  
11:00 受け付け開始  
12:00~16:30 講演会、総会、太神楽・落語、懇親会
- 【会場】 千代田区一ツ橋2-1-1 如水会館 ☎03-3261-1101
- 【会費】 8,000円(100期以降は6,000円)、学生は無料
- 【交通】▶地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車 A8, A9出口 徒歩4分  
▶地下鉄東西線の竹橋駅下車 1b出口 徒歩4分

## 第63回総会に寄せて

関東同窓会会長 矢島基美 (72期)



矢島基美会長

いよいよ関東同窓会第63回総会が近づいてまいりました。その概要につきましましては、本号の案内記事などをご覧いただくこととして、ここでは、会長としていくらかご挨拶申し上げることにいたします。

会長に就任して1年、同窓会なしいは同窓会活動といったものについて思いをめぐらせることが少なくありませんでした。私自身、ここ10年ほど、出身大学における学部同窓会の結成や運営に携わってきましたが、そこでも、同窓会なるものの存在意義とともに、どこか限界のようなものを感じることもあったのです。そして、つい最近、そのような思いを改めて抱かせる出来事がありました。

まだ肌寒い2月半ば、戦後憲法学を牽引された碩学のひとり、故芦部信喜先生の生前の学術資料を調査するため伊那谷に向いた折のことです。芦部先生は旧制伊那中学、現伊那北高校のOBで、そ

のご縁から、芦部先生の学生時代の講義ノート、助手時代の研究ノートなどの一部が母校同窓会に寄贈されました。それらの貴重な資料を閲覧する私どものために、伊那北高校同窓会が所有し、管理する同窓会館の一室が用意されました。

この同窓会館は、校地に隣接して2棟並んだ2階建てのうちの新棟に当たる1棟でしたが、実は同校のOBでその学校長を務めた方の高額の寄付を基に、同校創立90周年記念事業として特別研修施設用に建設されたものです。その由緒を記した扁額が玄関脇に掲げられているため、課外の自主学習で日常的に利用する現役生徒たち

もそうした事情をよく知っているようです。母校愛といえればそれだけの話かもしれませんが、同窓生に思いを致す篤志の高さのほどには大いに感じるものがありました。

その一方で、滞在中、同校の先生にお伺いした話には驚かざるをえません。上伊那農業高校、駒ヶ根工業高校を含む実業系の4校(科)の再編統合のみならず、伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校も4年後を目途に統合するというのです。もちろんその背景に今後さらに進行する少子化があることは明らかで、上下地域でも同様の動きが生じないとは限りません。

2024年総会に向けて  
総会実行委員長 鶴澤省一 (76期)

鶴澤省一さん

第63回総会の実行委員長を務めさせていただきます鶴澤省一(76期)です。昨年は5月に新型コロナウイルスが5類に移行してコロナ明けの年となり日常を取り戻すスタート

の年となりましたが、今年はウクライナ侵攻の長期化、イスラエル・ハマスの衝突に加えて1月1日に能登半島地震が発生し、いまだ復旧の過程にあり日常が取り戻せない地域、方々が多数いらっしゃると思います。私も1月1日は上田の実家に滞在しており長時間の横揺れに驚きました。関東同窓会の会員、上田高校卒業生の被災された

はなく、時代や社会の変化による影響をおのずと受けることにもなります。そのことを十分に認識しつつも、母校の歴史や伝統、気風や気概、さらにいえば、卒業生ならではの誉れや誇りといったもの一体どのように転じていくことになるのでしょうか。

そして、そのことは、今般のごとき統合再編の場合に限らない気がします。高齢化によって世代が広がり、それにとまなう人生観、価値観などの違いを前にするときに、そもそも同窓会は、いかなる目的のために存在するのか、そこで想定される目的をもってすれば幾久しく存続していくものなのか、当たり前のように思われていないか、当たり前のように思われていないか、なかの難問を、少しでも解いていくことが今の私たちには求められているように思われてなりません。

方、影響を受けご苦労されている方に謹んでお悔やみを申し上げるとともに心よりお見舞い申し上げます。

今年の総会は昨年に続いて「講演会」「総会」「アトラクション」「懇親会」のフル形式での開催となります。実行委員は76期、81期を中心に86期、91期、96期にて務めさせていただきます。暗い世相を吹き飛ばすべく実行委員一同頑張る準備を進めております。

講演会は一般財団法人日本エネ

ルギー経済研究所の小山堅専務理事(76期)に「激動の内外エネルギー情勢をどう見るか」をテーマに話していただきます。小山さんは東京大学公共政策大学院客員教授、東京工業大学科学技術創成研究院特任教授も務めており、昨年に石油輸出国機構(OPEC)賞の研究賞をアジア人として初めて受賞した国際エネルギー安全保障の第一人者です。

アトラクションは今年も趣向を変えて上田市出身の立川談慶師匠の落語と鏡味正二郎さんの太神楽を予定しています。にぎやかなひと時を楽しんでいただくとともに、懇親会では旧交を温めていただければ幸いです。

76期は今年人生の大きな節目を迎える65歳となります。私ごとですが昨年上田の実家の敷地内にセカンドハウスを建てて月1、2回は上田に滞在しており、高校までに過ごした時代と比べて中心市街地の衰退の半面、大型ショッピングセンター、ロードサイド店舗の充実によって暮らしやすくなっていくことを実感しています。今後はさらに上田での生活のウェイトを高くして本部の同窓会活動にも参加して関東同窓会との交流の一助になればと考えています。関東同窓会会員の皆様のご健勝と関東同窓会の一層の発展を祈念しております。





# 魅せられた小林さんの演奏

## 76名参加 新年会の報告

上田高等学校関東同窓会は1月20日(土)に東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館内、喜山俱樂部にて恒例の新年会を開催した。4年ぶりとなる立食形式の懇親会を復活させることができた。53期から115期まで76名の会員が参加した。

開会に先立って、元日に発生した令和6年能登半島地震の犠牲になられた方に対して黙祷を捧げた。第1部は矢島会長の挨拶後、115期の小林公哉さんによるピ

ブラフオンとスネアドラムの演奏(友人の山口静夏さんのピアノ伴奏)を行った。ピブラフオンの神秘的な音色に酔いしれ、想像と全く異なる日用品を使ったスネアドラム(いわゆる小太鼓)の演奏に驚き、加えて軽妙な小林さんの語り魅了された。アンコールを含めた全8曲はバラエティーに富んだ構成でどの曲も素晴らしかった。「ふるさと」は信濃の国の4番が組み込まれ、「校歌」は全員起立で合唱し、「真田丸」には

心が躍った。

第2部の懇親会は、待ちかねた立食形式、新型コロナが5類に移行され、4年ぶりの復活だった。石井光春相談役(54期)の乾杯挨拶で和やかな新年の宴が始まった。

一通り料理とお酒を楽しんだ頃合いで、最年長参加者の馬場正彦さん(53期)にご挨拶をいただいた。続いての第1部演奏者の小林さんとの質疑応答では「天国の音楽だった」との感想も出て盛り上がった。小林さんの同期で最年少参加者の山極優希さん(115期)も一緒に壇上にあがり挨拶をいただいた。



能登半島地震で黙とうをささげる参加者



小林さんのピブラフオンの演奏

歓迎は途切れることなく続いたが、お開きの時間が迫り、校歌の斉唱を行った。小山勇副幹事長(92期)と掛川洋二さん(72期)のリードで(第1部での練習?の成果もあり)よどみなく大きな声で歌い上げた。

最後に、第63回総会(6月29日開催)の副実行委員長長の横関正人副幹事長(81期)と同期の石田みどりさん、服部みどりさんが壇上にあがり、横関さんから決意表明と参加要請があった。こうして新年会は盛会の内にお開きとなった。



懇親会の様子

### 能登半島地震で義援金

上田高等学校関東同窓会は、新年会終了後、令和6年能登半島地震の義援金の募金を行い、集まった31,600円は毎日新聞社を通して被災地に役立てられる。

|           |         |     |    |
|-----------|---------|-----|----|
| 社会事業団への寄託 | 5万円     | 江東区 | 匿名 |
| 能登半島地震義援金 | 4万円     | 大田区 | 匿名 |
| 勝さん       | 3万1600円 | 国   | 匿名 |
| 中央区       | 3万円     | 国   | 匿名 |
| 関東同窓会     | 3万円     | 国   | 匿名 |
| 分寺市       | 2万円     | 国   | 匿名 |
| 万4000円    | 江東区     | 匿名  | 匿名 |
| 文真歩さん     | 2万円     | 国   | 匿名 |
| 大田区       | 1万円     | 北區  | 匿名 |
| 大田区       | 1万円     | 北區  | 匿名 |
| 平松さん      | 1万円     | 江川  | 匿名 |
| 清さん       | 1万円     | 江川  | 匿名 |
| 区         | 1万円     | 新橋区 | 匿名 |
| 子         | 1万円     | 加藤  | 匿名 |
| 子         | 1万円     | 酒井  | 匿名 |
| 子         | 1万円     | 佐藤  | 匿名 |
| 正         | 1万円     | 東村  | 匿名 |
| 田         | 1万円     | 山手  | 匿名 |
| 洋         | 1万円     | 山手  | 匿名 |

2024年2月2日の毎日新聞朝刊東京版

# アクト法律事務所

〒107-0052  
東京都港区赤坂3丁目9番18号  
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階  
TEL: 03-5570-5671 (代表)  
FAX: 03-5570-5674  
【最寄りの交通機関】  
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士(所長) 岩井 重一(62期)  
弁護士 安田 隆彦  
弁護士 平澤 慎一  
弁護士 波戸岡 光太  
社会保険労務士 岩井 信也





# 新年会に参加して

## 楽しい音楽のひとつとき

小林公哉さん

(115期)

この度は素敵なご縁をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。この機会を通じて、母校の同窓生の皆様と楽しい音楽のひとつときを過ごすことができました。

演奏をさせていただいた際には、皆様から温かい拍手やお言葉をいただき、私にとっても貴重な経験をさせていただきました。皆様の笑顔や楽しい時間を共有できたこと、その喜びを分かち合えたことに心から感謝しています。

演奏させていただいたプログラムは以下の通りです。素晴らしいピアノの山口静夏さまに共演いただきました。

G・ガーシユウイン作曲 3つの前奏曲

G・ロシンスキ作曲 "SynC" for Solo Snare Drum

Z・アブレウ作曲 ティコ・ティコ

E・モリコーネ作曲 愛のテーマ  
ニュー・シネマ・パラダイス



小林公哉さん



山口静夏さん



山極優希さん

岡野貞一作曲 小林公哉編曲 ふるさと

岡野貞一作曲 上田高校校歌  
服部隆之作曲 「真田丸」メインテーマ

アンコール 山本直純作曲 男はつらいよ

そして懇親会では、多くの同窓生の皆様と交流することができ、世代を超えた共通の話題などを共有することができました。このような場合は、同窓生にとって大切なつながりを築く機会であり、これからも続けていくべきものだと感じました。

こちらの会で宣伝させていただきました3/7の私の演奏会には、多くの同窓生の皆様に足をお運びいただきました。まだまだ東京での活動が浅い自分にとっては、同窓生の皆様にご来場いただくことは、非常に励みになります。この場を借りて御礼申し上げます。

最後に、この素晴らしい機会を提供していただき、また温かい歓迎のご支援をいただき、関東同窓会の皆様に心から感謝申し上げます。今後も母校での教えを胸に、「試百難」の気概で精進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

します。

山口静夏さん

みんなで作り上げたコンサートで楽しかったです。

## 同期の演奏、最高

山極優希さん

(115期)

新年会では有意義なひと時を過ごせました。小林公哉さん(115期)らによる演奏は、フツツと笑ってしまおうようなトークや演出も含め最高で、この日までに彼がどれほどの時間と魂を音楽に費やしてきたかを容易に想像させました。また、懇親会では多数の方々と言葉を交わすことができました。さて、懇親会中盤、私は先輩方に背中を押されながらマイクを握りました。「応援練習をどうにかしたい」。実は、在学当時、私は新入生として応援練習を経験し、二年後これを運営しました。大学に進学し社会の過酷さや不合理的を学び志半ばで上田に帰省した後は、この一連の体験から感じざるを得なかった疑問を度々反芻するようになりました。高校の歩みを提示し問いかけ続けることが、生徒諸君の意思決定を真の意味で尊重するため我々同窓生にできることなのではないかと考えた次第です。同期の演奏を聴きながら、心の中で止まっていた時計の

針を進められる気がしたのでした。

## 松尾倶楽部たより

松尾倶楽部はコロナ禍で長らく自粛しておりましたが、活動を再開しております。この9月に第175回例会として上田方面日帰りバスツアーを実施します。コロナ前に好評をいただいた例会講演母校の大先輩「五島慶太と……」のあと生誕の地である青木村に記念館が開設されました。今回は、その「五島慶太未来創造館」を訪ね、その後昨年の関東同窓会総会でも好評だった上田高校吹奏楽団のOBOG会である松奏会創設10周年記念コンサートを鑑賞します。今回は現役と同窓生のジョイント、プロの同窓生も参加して上田サンコミュニティにて、大ホールで初めての開催となります。倶楽部会員がおりますので、車中ガイドンも予定します。

詳細は近々発行の会報でご案内します。

なお、11月の例会は日本経済関連の講演会を予定します。

松尾倶楽部代表幹事 近藤正昭 (69期)

松尾倶楽部ホームページ：  
<https://matsuo-clubjimndofree.com>

**櫻田法律事務所**

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)  
弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092  
千代田区隼町2-17 バレスサイド千代田3F  
Tel. 03-3512-3562 Fax. 03-3512-3563  
E-mail : sakura@sakurada-jimusho.com

**祝！ 第63回総会**

**81期**

81期有志一同

今年は私たちが総会実行委員当番期です  
81期一致団結して総会・懇親会を成功させましょう！  
皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください

# 第41回ゴルフコンペ開催される

## 千葉CC川間コース

第41回上田高校関東同窓会ゴルフ同好会のコンペが、4月5日(金)に名門千葉CC川間コースで、参加者20名で開催された。当日は、気温11度、小雨模様の花冷えの中であつたが白熱した競技となつた。前回40回の記念大会は、昨年10月25日(水)に東京都小平市にある名門小金井CC



朝雨天のため集合写真は懇親会後に

で参加者40名という大コンペであつたが、今回はその半分の人数ながらその腕前は中々のものであつた。特に優勝した石井光春さん(54期)は、今年87歳になるにも関わらず、ショット、パットとも絶好調で「これぞ熟練した技だ」と同伴者を唸らせた。次の年長者で1歳年下の宮島光男さん(55期)は、「石井さんと永遠のライバル関係にあり、石井さんが素晴らしい成績で回つて来たので、今後ますますやる気が出た」と言つていた。一緒に回つた筆者から見ても宮島さんのドライブ、アイアンは迷うことなく振り切るのでその思い切りの良いスイングに驚愕した。成績は、優勝は石井光春さん(グロス97、ネット61)、準優勝は山浦直次郎さん(61期)(グロス102、ネット67)、3位は丸山暢久さん(65期)(グロス86、ネット



優勝の石井光春さん(54期、左)と幹事代表の古畑克巳さん(69期)

70)で、丸山さんは、ベスグロでもあつた。NP賞は不肖古畑が3本、山浦さんが2本、山岸さんが1本、橋詰さんが1本獲得した。優勝した石井さんは、優勝スピーチで「ここ最近体調が思わしくな

い中で優勝出来たことは本当に嬉しい。優勝トロフィーを家に持ち帰り女房に見せたい」と夫婦円満ぶりも披露した。準優勝の山浦さんは「丸山暢久さんからゴルフの手解きを受けて、何となくゴルフが分かってきた」と話された。3位の丸山さんは「毎回優勝を狙っているが、ベスグロもそれに劣らず名誉な事で、今回それが達成できて満足している」と挨拶された。

今回の特徴として、前回の記念大会を機に、春の千葉CCで桜を見てプレーしたいと言う方が4名(由井崇さん61期、福内敦さん73期、土屋元一さん73期、矢ヶ崎毅さん80期)が初めて参加され、これまで以上に盛り上がったコンペとなった。特に由井さんは遠く北海道から参加され、懇親会で当地の現在の様子を披露し参加者一同冬の北海道の大変さを知つた。



満開の桜

次回第42回ゴルフコンペは、昨年秋季と同様に小金井CCで、10月23日(水)に行う予定でいる。前回腰痛等の突然のキャンセルで参加出来ない方もいたので、今回は早めの準備と体調管理で参加してほしい。小金井CCは個人で申し込むことも中々出来ないし、且つ今回ご案内のコンペ料金でプレーも出来ない。この機会をぜひ活かして欲しいものである。小金井CCでのゴルフコンペの概略は次の通りです。(参加希望者は、ご案内の前(7月頃)でも返信下さい)

1. 開催日: 10月23日(水) 予約枠 12組 48人 スタート時間 8:30
  2. 開催場所: 小金井CC 東京都小金井市
  3. 料金: 23,420円 プレ1代のみ 昼食代別
  4. 参加費: 4,000円(コンペ・賞品代)
  5. ドレスコードあり、35歳以下はプレー不可
  6. 申込先: ゴルフ同好会幹事古畑克巳 jlc3685\_b8@gold.zeo.jp
- ゴルフ同好会幹事代表 古畑克巳(69期)





# やまびこ句会

春になると次々と草木が芽を出し、さまざまな花が人を楽しませてくれる。我が家の庭には早春に露の臺が顔を出すので、天麩羅や露味噌となつて夕膳にのぼる。近くを散歩すると、黄色のミモザや白い辛夷の花が咲き満ちて、気持ちを明るくしてくれる。春は実に良い季節だ。

山菜莢やまばたくたびに花ふえて

森澄雄

猫柳ほつほつ家に受験生

森澄雄

わが師森澄雄の句はやさしく誰

## やまびこ句会(10月〜3月)

- 妻の炊く少し硬めの栗おこわ (貴美)
- 霜の朝挨拶くれる子らの群れ (芙紗)
- 金婚を孫子と過ごす良夜かな (正雄)
- 蒼天に白き浅間の淑気かな (一江)
- 被災者の声に涙す能登の冬 (泰男)
- 美容院鏡の横にヒヤシンス (平六)
- 人を待つ春まだ浅き有楽町 (孝昭)
- 蹲の上に残れる落椿 (隆治)
- 茶室はも春なつかしむ異空間 (前歩)
- 平安の王朝絵巻春を呼ぶ (正佳)

源氏物語展

### 女性会員交流の昼食会実施!

会員交流委員会副委員長

石黒久仁子(80期)

児玉一江(62期)

が読んでも難しくない。見て、その時その時の思いを俳句にしている。表面的にはそのままのようである。単純だが、理屈を消して、それぞれの生き方に即して句を作る、師の教えは今も脳裏に浮かぶ。さて、やまびこ句会も十年以上続いているが、メンバーは殆ど替わらず皆毎月、熱心に俳句に取り組んでいる。日々の生活の中で季節の移ろいを感じ、五七五の言葉

2023年度より

女性同窓生交流委員

会は全体の会員交流

委員会と統合され、

竹花真理子(78

期)、鈴木巳季(80

期)、阪下千恵(93

期)の各氏が女性同

窓生の皆さんの交流

を担当することとな

りました。

「女性同窓生の会」

は2020年はじめ

から続いたコロナ下

での活動自粛で2回

の延期を余儀なくさ

れていました。青沼委員長・四方委員をはじめとする皆さんのご尽力で、2022年10月に13回目となる素敵な講演会・懇談会を開いていただきました。

今年度から担当のわたくし達委員4名はミーティングを重ね、また女性会員の皆様に「FEM」を通じたアンケートを実施いたしました。アンケートからは、さまざまな交流機会のご提案があり、更に参加可能なスケジュール(曜日や時間帯など)が多岐にわたるなどの状況が浮かび上がってきました。

この結果を受け、今年度は関東同窓会の幹事会や役員会、また新年会で集う神保町の教育会館ビル内にある、泰南飯店での昼食会を計画・実施いたしました。

開催日の3月30日はちよ

うど桜が満開の予想でしたが、

今年の春は雨天も続き

桜の開花が通常より遅れて

しまいました。前日まで雨

も続きお天気が大変心配さ

れましたが、当日はとても

暖かい晴天! 久しぶりの

会の開催をととても楽しみに

していたわたくし達委員の

心もより一層明るくなりま

した。

合計13名の参加者(67

85期の方々)が、美味しい

中華料理のランチをいただ

きながら歓談し、あつという間の2時間を過ごしました。ご参加くださいました方の中には今回初めていらした方もいらっしゃり、とても楽しい昼食会となりました。

会は前年度まで委員長としてご尽力くださいました青沼前委員長の挨拶で始まり、その後2つのテーブルに分かれて活発な歓談をいたしました。食事も終わりに近づいた終盤、ご参加くださった皆さんからそれぞれの自己紹介・近況報告を伺い、改めて久しぶりの、また新たな交流を深めることができました。そして最後に、上田高

校関東同窓会の女性同窓生のつながりを会の発足当時から支えてくださっている、水島良子様(67期)からとても温かいご挨拶をい



女性会員交流の昼食会で

## 新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会元会長

弁護士 村越 進 (67期)

東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号  
岩波書店アネックス8階 〒101-0051  
電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361  
http://www.shin-chiyoda.jp/

ただき会を終りました。ご参加くださった皆さん、また運営をお手伝いくださった皆さんに心から御礼申し上げます。今回の昼食会にはスケジュールのご都合でご参加できなかった会員の方も多数いらっしゃいました。皆さんのご意見やご都合をお伺いしながら、今後も交流の機会を計画・実施していきたいと思っております。ご提案やお問い合わせがありましたら、最終ページの連絡先までご連絡ください。同窓会の活動を通じて、皆さんにお会いできますこと、楽しみにしています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

## 日本最大の美術展覧会

## 「日展」を見に行こう

会員交流委員会では、この秋のイベントとして、11月に開催される「日展」を解説付きで鑑賞する会を企画します。

「日展」は明治40年から続く日本最大の美術展覧会で、一般から公募する作品とプロの日展会員の作品と一緒に展示されます。

去年11月、六本木にある国立立美術館で開催された展覧会では日本画、洋画、彫刻、工芸美術そして書の5部門合わせて3000点の作品が展示されました。私が行ったのは金曜日の夕方でしたが、2階と3階に設けられた広い会場では結構多くの人が作品を鑑賞していました。

主に彫刻部門を、日展特別会員彫刻家73期堀内秀雄さんの案内

を見て回りました。彫刻といっても作る素材がブロンズ、石膏、焼き物、プラスチックなど多岐にわたっていることにまず驚きました。遠くから見てわからないものも、近づいてみると、素材によって光沢や色合いに違いがあることがわかりました。写真は堀内さんの出展作品ですが、石膏が素材です。等身大ですが、こんな大きなものをどうやって型を取って作っていくのか、といった疑問も堀内さんの解説でよくわかりました。

ただ見て回るだけではわからない美術作品もプロの解説付きで鑑賞すると違う世界が見えてきます。そんな体験を同窓会会員のみなさんにも味わっていただきたい、というのが今年秋の鑑賞会で

す。日本画や洋画なども人数がまとまれば案内役がついてくれるそうです。日程など詳しくは決まり次第、関東同窓会のホームページなどでお知らせしますので、どうかご期待ください。  
(会員交流委員会 73期 掛川治男)

## 生き方の多様性を知る

## 72期同期会 関博明

4年ぶりに開催した同期会についてご報告をします。

2023年11月24日(金)に、新橋の同窓生がよく利用される居酒屋「尾和」(オーナーが85期尾和正登さん)で開催しました。

同期会は、4年前までは毎年秋に開催してきましたが、コロナ禍の影響で2020年以降途絶えていたので、待ちに待った開催でした。幹事は毎回私が担当してきましたこともあり、今回も引き続き担当しました。

当日は休日の合間で参加人数が心配されましたが、19名も参加されました。現在の関東同窓会長の矢島基美さんも参加されました。また女性の参加者は7名でした。高校時代1クラスに5名の全学年でも40名だったことを思えば、本同期会は女性も参加しやすい会と言えます。

この会は畏まった近況報告等イベントはありません。4年ぶりの開催とは言え、皆さん顔なじみになつていたので、和気あいあいとそれぞれが席を移動して話したい相手と話す形式です。今回はお一人、上田市からわざわざ参加していただきました。長谷川正之氏(旧3組)です。上田市を元気にするための活動をされていて、活動状況を紹介されました。我々が東京に出てきて50年。今憂いているのは上田市に元気が感じられないこと。上田市に活気が戻るよう長谷川さんや同窓の活動に期待が膨らみました。

高校時代は一言も交わさなかった間柄であっても同窓と言う共通項で、素敵な時間を共有できるのです。上田高校OBの仕事や生き方の多様性を知ること、自分の人生にも幅が広がることを体感しています。

この素敵な体験を20、30歳代の若い後輩たちに知っていただきたいです。そこで、私の経験をこの場を借りて簡単に書いてみます。

後輩のみなさんも多分クラス単位や班単位で、数人で会うことがあると思います。72期も元々はそうでした。私はこの友人の輪を広げたいと思立ち、他クラスの友人や班の集まりをたどっていきました。それが2クラスそして3クラスと広がっていったのです。今



72期同期会で

では8クラス中7クラスの人が参加してくれています。クラスを越えた同期の仲間となつて、仕事や趣味、時には困りごとのヘルプまで、繋がりやすさをつくづく感じております。

後輩の方で私のやってきたことに共感される方もいらっしゃるのではないですか? ぜひやってみましょう。関東同窓会は、そのような方の支援を行っています。ぜひ同窓会事務局または、事務局経由で私にご連絡ください。サポートいたします。

72期は、今年も同期会を開催します。今年も元気に再会したいです。

第10回日展(2023) 或るカノン-理の選択  
堀内秀雄





## 幸村公の末裔が講演

### 62期主催「歴史講演会」

2023年11月1日(水)、関東同窓会の62期主催としては初めての「歴史講演会」を文京シビックセンターで開催しました。講師

にお願したのは、62期岩井重一さんの知人で真田幸村公14代目末裔であり、仙台真田氏13世末裔で現当主である真田徹氏です。当日は62期生の他、関東同窓会や赤松小三郎研究会、郷友会などからの参加協力を得て計31名の方々に集まりいただき、真田徹氏ならではの講演を聞いていただきました。

主催者として事前の会場確保手配や配布資料等の準備、参加への誘い、当日の会場セット、受け付け、今半すぎ焼弁当や飲み物など昼食配布などの任務分担を行って万全を期し、司会は岩井重一さんが担当しました。

講演の内容は、真田氏のはじまりから、歴史に名高い真田三代(幸隆・昌幸・幸村)の業績、そして仙台真田氏の誕生について、



講演する真田徹さん(左)

第二次上田合戦・関ヶ原の戦いなどにも及び非常に幅広いものでした。特に、真田氏を武

田家の一家臣から独立した戦国大名へと発展させた真田昌幸についても詳しい解説をしていただきました。

真田幸村の家系図によれば、幸村には正室側室との間に13人の子女がいますが、その内の娘たちは後にそれぞれが方々に父幸村の墓をそれぞれ建立するなどして真田家に貢献しているそうです。そこで、この講演会の結論は「持つべきものは娘」だと感じた次第でした。

講師の真田氏は、河出書房新社から「真田幸村の系譜」を出版しておられ、上田市の観光大使なども務められておられます。

62期では、今まで旅行に出かけたり懇親会などをしてきました。が、今後も今回のようにいろいろな企画を計画していきたいと思っています。

この講演会に出席した同期の栗山正雄さんは、この講演会の感想を自身のフェイスブックに次のように投稿していますので本人の了解を頂き、以下に加えます。

「思っていた以上の興味深い情報が得られた。『伊達政宗はなぜ幸村の子女達を引き受けたか』『幸村正室竹林院は九度山で、男2人、女5人の子をもうけ、内大

八が片倉家に保護され、片倉守信を名乗る』『守信が仙台真田家の祖、講演者はその13代目』等々。特に『以前京都竜安寺で、なぜ幸村の墓があるのか疑問を持ったが、その謎が解けたこと』また幸村の流れを絶やさぬよう竹林院の働きが大変大きかったという説明が大きな収穫であった」

### 赤松小三郎研究会

●第10回赤松小三郎講演会のご報告

研究会設立10周年の記念となる今回の講演会は、昨年11月26日(日)、町田明広神田外語大学教授を講師にお迎えして、日比谷図書文化館で開催されました。演題は「幕末政治と赤松小三郎」。当日は103名のご参加(同窓生24名、一般79名)をいただきました。以下、講演で印象に残った点を紹介します。

・赤松小三郎は「建白七策」を建白した政治変革家としての側面が強調されるが、むしろ軍事戦略家としての側面を再認識したい。

・浅津富之助(加賀藩士)と共訳した「英国歩兵練法」(下曾根稽古場蔵版、慶応二年)は、イギリス式の兵学の日本における最初の公式的な存在。赤松が軍事戦略家としてトップランナーだった証拠であり、私たちは再評価すべき重

要な点。そして、これが薩英戦争を経験した薩摩藩が赤松に注目する最初の可能性になったと考えたい。

・赤松も力を注いだ「幕薩一和」運動は、幕末政治における画期的な出来事で、実は形を変えて大政奉還運動に連動し、更には大政奉還後の小松帯刀や坂本龍馬の政体構想に接続したと考えられる。

・「建白七策」について、譜代小藩の上田藩士であるため幕府を排除できず、幕府と西国雄藩の連携、特に幕薩融和を意識し、四侯会議のタイミングに合わせて建白をしたという政治的センスに重きを置くべき事象と位置づける。

・赤松の非業の死は、日本軍事史において痛恨事であるとともに、政治史においても有能なインストラクターを喪失したと断言しても過大評価にはならないと確信する。

講演の詳細は関東同窓会HP中の赤松小三郎研究会HP(昨年11月に開設)でぜひご覧ください。(赤松小三郎研究会 荻原貴)



講師の町田明広さん

Outsourcingの知識集団  
株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳(69期)  
(公認会計士)

東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号  
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005  
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

土屋法律事務所

東京都港区虎ノ門1丁目1番15号  
三田ビル3階(〒105-0001)  
TEL 03-3580-8588  
FAX 03-3539-7057

弁護士 土屋耕太郎(68期)

## 歴史の宝庫・佐久平

### 歴史散歩で心身共に充実

新幹線で東京と信州の往来がしやすくなったので、一昨年から東京と信州の両方一緒に「歴史散歩」を楽しんでいる。昨年は、東京3回、信州2回の歴史散歩をしたが、11月に行った信州歴史散歩について報告する。広い佐久地域の史跡を車も利用して巡った。

木曾義仲の滅亡後、鎌倉時代、佐久地域では岩村田を中心に、大井氏が地頭として一大勢力を誇った。戦国時代になると村上氏が侵攻、その後、武田氏が侵攻し、武田氏が滅亡すると、佐久は徳川家康の支配下になり、徳川方の依田信蕃が佐久地域に勢力を拡大した。



龍岡城大手門跡

11月11日、佐久平駅に集まり、佐久地域の中心、岩村田宿を浅間郷土史研究会会長・井出氏の案内で巡る。



龍雲寺八脚二重楼門

龍雲寺は鎌倉時代に大井氏の招きで開山したが、うち続く戦乱で荒廃していた寺を再興したのは武田信玄。本堂の奥には信玄公遺骨が収められた五輪塔が建立されている。

西念寺は、小諸初代藩主・仙石秀久の菩提寺。岩村田藩主（内藤家）の菩提寺でもあり、徳川將軍10代までの位牌もあるとのこと。  
鼻顔稲荷神社は永禄年間の創建。日本五大稲荷神社に数えられ、養蚕、製糸関係者の尊崇を集めていた。  
昼食後、志賀地区に向かった。

志賀城跡は、大井氏の衰退

に乗じて笠原氏が築城したが、武田信玄に攻め落とされ、城主は惨殺され、城兵300余が戦死。籠城していた多くの男女は生け捕りにされ、黒川金山の作業員や娼婦、奴隷として人身売買されたという落城悲話が残る。

志賀地区にある神津家は、黒壁家と赤壁家があり、この地域の大地主として有名というだけでなく、神津牧場の創業、長野電鉄の創設や志賀高原の開発など信州の経済発展に尽くした。神津港人は画家で東京芸術大学教授。神津義行は作曲家として活動している。

旧中込学校。長野県に現存する最古級の擬洋風建築の学校で国・重文に指定されている。2階の廊下と1階の手すりの間にはステンドグラスがはめ込まれて美しい光を校内に放っている。建築費用は約6100円（約1億2千万円）。当時の中込村は養蚕と薬用人参の栽培が盛んな地域で、特に豊かではなかったというが、子供たちに良い教育を受けさせたいと、村人たちが費用を捻出した。当時、一般的な家で1円（約2万円）を出し、残りは資産家の



旧中込学校

寄付でまかされたこと。

龍岡城跡。この城を築いたのは、三河国奥殿藩主の次男だった松平乗謨。幕末、老中格や陸軍総裁を務め、洋式城郭に憧れていた。文久3年に田野口藩へ転封になると、函館の五稜郭と同じ稜堡式築城法の城郭を築き、龍岡藩と改称した。城の大手門から入り、星形の堀に沿った土塁の上を一周した。堀は5分の3が完成して水をたたえている。土塁の上には砲台跡が残っている。

見学はここまでで解散したが、予定では田口藩主・依田信蕃の菩提寺である蕃松院も見学予定であった。  
佐久平は広く、歴史が詰まっていると感じた。

清水計枝（64期）

eclat

税理士法人 エクラコンサルティング  
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒102-0094 千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニガーデンコート8階

TEL: 03-6866-8800 FAX: 03-6866-8801

http://www.eclat-c.com/

## 土屋綜合法律事務所

弁護士 土屋 文男 (69期)

〒102-0073

千代田区九段北1-3-3九段下東急真光ビル4階・8階

TEL: 03-3512-0211 FAX: 03-3512-0214





# 関連団体の紹介 東京東御市会

## 「伝えきれない感謝の気持ちを込めて」

大雪と寒波の襲った日本列島、異常気象のなか皆様お元気で過ごすのことでしょうか。

大雪と寒波の襲った日本列島、異常気象のなか皆様お元気で過ごすのことでしょうか。

しかしながら、そうした閉ざされたなかでのたくましく手を携えて苦難から立ち直ろうとする姿は私達に勇気と希望を与えてくれます。

神様は、一人ひとりに乗り越えることのできない障害は与えないと聞き及んでおります。

東京東御市会もお互いの懇親を通じて協力の精神を養い、郷里のために尽力するという精神を見えないうちに培われることを嬉しく思っております。

### 4年ぶり総会

令和5年11月18日、4年ぶりに日本教育会館において東京東御市会総会及び懇親会が開催されました。

新型コロナウイルスが猛威をふるい、会の活動が中止を余儀なくされ、交流が閉ざされた中で長い暗いトンネルを抜け出した思いでし



東京東御市会総会・懇親会

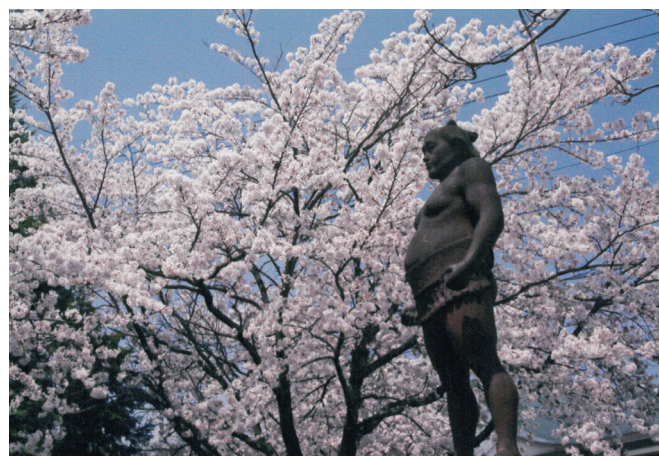


北国街道海野宿

た。初参加の人もおり会話が弾み、笑顔が弾み、その輪の中で嬉しく思いました。

この度の総会及び懇親会には49名の方に参加していただきました。

郷里からは東京東御市会応援団として花岡利夫東御市市長、眞島実信州うえだ農業協同組合組合長、佐藤千枝長野県議会議員、中村眞一東御市議会議長らのご多忙にもかかわらず参加いただき、また、東京上田会会長山寄齋明氏、東京小諸会会



竹内不忘作雷電為右衛門

長松井石根氏らの出席により盛会となりました。当会には各分野で活躍している会員、またはかつて活躍した会員が集っており（レーシングドライバー・ルマン24時間耐久レース世界2位土屋圭市氏、元NHK交響楽団首席・元国立音楽大学教授百瀬和紀氏、オレたちひょうきん族懺悔の神様武者博和氏）、交流を深めることにより得難い刺激を得られると思

っております。最後に、皆様の健康とご多幸を祈念して上田高校の先輩である（二社）日本生活習慣病予防協会の名誉会長池田義雄氏の左記言葉を引用して結びの言葉したいと思います。

「生活習慣病予防につながる基本の健康生活、『一無（禁煙）、二少（少食、少飲）、三多（多動、多休、多接）』の実践をお勧め致したく思います」

東京東御市会  
会長 土屋文男（69期）

## 東京東御市会 会員募集中



東御市出身の方、東御市にゆかりのある方々、皆様のご参加お待ちしております。

会長 土屋 文男（69期）  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北1-3-3  
九段下東急真サクラビル8階  
03-3512-0211

# 同窓生の新刊

この欄では同窓生の皆さんが出版した本を掲載しています。紹介したい図書がありましたら、左記のメールアドレスにご連絡ください。その際、著者の連絡先、表紙の写真も送ってくださいと助かります。

naa1rak3@outlook.jp

中村和久

(定価は税込み)

『Mrs. カトゥーラの新感覚★タイバ英語』英語攻略の最短5ルー

河東田美恵 (92期)



こんな英語学習本見たことがない！ たった5分で英語耳になれるメソッド収録！

8つの質問に答えて、5つの認知才能タイプ別に最短距離で英語マスターへ。(著者より)

『江戸の憲法構想』

関良基 (86期)



作品社 2420円

本書は、上田藩の赤松小三郎など江戸末期の6つの憲法構想を読み解くことで、明治維新とは違った、より平和で穏健な日本近代の可能性があったことを論じます。(著者より)

『東京六大学野球人国記』

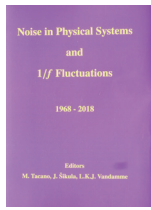
丸山清光 (70期)



鳥影社 2970円

来年で満100年を迎える東京六大学野球。上田高(上田中)出身の主将は、早慶戦第一戦に出場した宮原清、桜井弥一郎(慶大)、昭和32年甲子園出場時の捕手の倉島今朝徳(明大)、六大学野球50周年時の渋沢稔(東大)、小生(明大)の5名。第1章は上田高校(中学)から始まり、100年で描かれた人間模様を記しました。(著者より)

『Noise in Physical Systems and 1/f Fluctuation』1968-2018



全英文、A4、320頁索引付き、一部カラー・ソフトカバー、重量1kg、税込み定価25000円。

編集：鷹野致和(56期)、J・シクラ(チェコ・ブルノ工科大学)、L・バンダム(蘭・Eindhoven工科大学)

雑音・ゆらぎの50年間の国際会議(情報通信分野)発表論文3000件以上から約400件の概要を第一部に、現在活躍中の主要各国研究所の業績を第二部に紹介。残部些少、希望者には12000円にて頒布 facanojp@yahoo.co.jp までご連絡下さい。 Amazon 経由で市販計画、図書館等需要多ければ On Demand にて増刷します。(編集者より)

## 会員短信

### 新年会の出欠はがきより

46期 金子 壽夫

ご連絡が遅くなり大変恐縮ですが、父金子壽夫は去る令和3年11月13日に永眠いたしました。生前故人に賜りましたご厚誼に対し深く御礼申し上げます。末筆ながら貴会同窓会のご盛会を心よりお祈り申し上げます。長い間、本当にありがとうございました。不長男・金子周介

47期 上野 平八郎

卒寿を過ぎどうにか生きています。ご盛会を祈ります。

48期 吉村 功

同窓会報が立派になり事務局の苦勞が理解出来ます。新年会が盛会になる事を祈念しています。

49期 風間 充

昨年、最愛の妻を亡くし毎日寂しい日々を送っています。妻の分まで健康で長生きを願うトレーニングをしています。平和な世界が続くことを願っています。

51期 蒲生 卓磨

89歳になり、元気に一人暮らしをしています。東京まで行くのは大変です。皆さまよろしく。

51期 保坂 利勝

12月10日、同期会があり出席できました。出席者僅か24人でした。上田駅前の東急ホテルでした。

52期 掛川 十次郎

会報楽しく読ませていただきました。感謝。これ程の勞作に御苦勞を思う。益々の發展を祈ります。

54期 倉島 彰

東京の家を引き払って上田の生家に移居してから1年経ちました。平穩に独居しています。

54期 深町 勝男

コロナ、インフルエンザに耐え当方元気です。

54期 石井 光春

新会長・矢島基美様、御苦勞様です。同窓会のますますの發展を祈念します。

55期 宮島 光男

## ことぶき法律事務所

弁護士 林 幸平 (74期)

東京都新宿区新宿 2-19-13  
坂善第一ビル 8F 〒160-0022  
TEL 03-3226-0260  
FAX 03-3226-0290  
URL <http://www.kotobuki-law.com>

## 上中居ファミリークリニック

医学博士 清水 雄至 (79期)

〒370-0851  
群馬県高崎市上中居町411  
TEL: 027-326-4155 FAX: 027-326-4156  
E-mail: yujikiyomilisatiger62@gmail.com





「85歳の壁」を越え、終活を始める年に。20年あまり続けてきた松尾倶楽部の編集幹事を能力豊かな後輩に任せたい。「アイラブウエダ」の東京上田会もそろそろ若手を探さなければ、と祈る思い。同期の仲間による「三水会」は元気のうちは半分続けていくつもりだが、さてどうなるか？

**56期 安田 明**  
父・安田明は、令和5年12月5日亡くなりました。謹んでご連絡致します。長男・安田明礼

**57期 榎本 金二**  
元気に過ごしております。

**57期 箱山 雍**  
健康管理として、家庭菜園、ポラントイア活動、おもちゃ病院、趣味(テニス、ハイキング等)に毎日元気に頑張っております。

**59期 阿部 真之亮**  
昨年9月5日に父真之亮は永眠致しました。生前は大変お世話になり、誠にありがとうございました。長男・徹

**60期 田中 俊郎**  
百姓に戻って20年、我が国の穀物自給率が28%まで低落してしまい、心配しています。少子化も神のご意志かと。

**60期 松井 石根**  
80歳、年をとるほど苦勞が増える。楽隠居など幻想かな。

**60期 山岸 文明**

傘寿を迎えました。健康第一で生活しています。世界の平和を祈りつつ、趣味の俳句に打ち込んでいます。

**60期 小山 比呂志**  
会報107号で93期田玉恵美さんの紹介記事で上田高校同窓生と知り、感謝です。編集長ありがとうございました。今年は上田高校吹奏楽団OB会「松奏会」設立10周年です。

**62期 柳澤 昌俊**  
一般社団法人・文教施設協会という団体に勤めています。上田市中野の実家(空き家)には時々帰省しています。

**62期 斉藤 実敏**  
中国から帰国して、3年目。「温故知新」旧友との友情の大切さを再認識しています。皆様と会うことを楽しみにしています。

**62期 栗山 正雄**  
「フェイスブック」にグループ「上田高校の同窓生」を開設、郷里や同窓生の話題など交換しています。現在メンバーは130人程、興味ある方はお知らせください。

**63期 山浦 善樹**  
同窓会報で卒業80期、90期…さらには115期の若い同窓生が活躍していることを知り、今更ながら上田高校ですごくいいんだ！と感じています。

**63期 飯塚 一雄**  
喜寿を迎えましたが、まだまだ東南アジアの鉄道へのコンサルタントを続けています。コロナ、ウクライナ、ミャンマーの軍事政権の影響で活動が停滞しています。が、体の続く限りがんばりたいと思います。

**63期 花岡 孝雄**  
役員の皆様ご苦勞様です。盛会を祈ります。

**63期 山極 真咲**  
総会吹奏楽を楽しみました(吹奏楽班OBとして)。まだ現役でコロナ後、台湾へ3回出張して忙しくしております。プラスチックのリサイクル装置を輸入し国内に納入しています。

**65期 小林 淳一**  
昨年4月から公立大学法人長野大学の学長をしています。

**65期 上原 昇**  
久しぶりの立食での新年会楽しみです。65期も4年ぶりの同期会を関東で開催予定です。

**66期 柳澤 公雄**  
私の父は、戦中、ビルマで泰緬鉄道の建設に携わったのですが、当時の様子がよくわかりません。泰緬鉄道の建設や維持に関わった人達(鉄道部隊関係者)が戦後に「乙四会」という集まりの会を持つていたことがわかっています。が、この会の事などご存じの事

**66期 柳澤 公雄**

がありましたら教えていただきたいのです。

**69期 倉沢 裕**  
新役員の皆様のご活躍を期待しております。従来の風習にとらわれずに新しい同窓会を目指し、チャレンジをお願いします！

**72期 中澤 一治**  
若いスタッフと一緒に、何とか現役しています。アマチュア無線も長々と細々とやっています。アンテナタワーはとて無理なので、もっぱら、430中心です。条件がよいと関東(1エリア)はカバーできますね。7コールです。

**72期 青沼 泉**  
今年10月に上田に戻ります。関東同窓会にはその後もお世話になります。よろしく願います。

**75期 一之瀬 康利**  
今年、前期高齢者となります。が、気持ちには25歳です。つねに若手のシンガーをチェックしています。作曲活動も続けて参りたいです。どなたかセッションしませんか？

**75期 一之瀬 康利**

**年齢問わずコミュニケーション**  
学校に公式麻雀部誕生  
松井石根さん(60期)が理事長を務める通信制高校・フリースクール「松実高等学校」(埼玉県春日部市)で「健康麻雀部」が発足

し話題を呼んでいる。きっかけは生徒が一人でケータイアプリの麻雀をしているのをみて、一緒に牌を囲んだらと考えたことからだった。「麻雀はコミュニケーションのツールとして優れているし、必ずしも実力者が勝つわけでもない。相手もいて頭をつかう楽しいものだ」と顧問の斉藤友昭さんは語る。

最初はギャンブルという昭和の暗いイメージがある麻雀を、学校でやっても大丈夫なのか、との声もあつたが友人をつくるためにも有効だと、2022年に正式に誕生した。今では中等部3人、高等部23人で活動している。また、デイサービスの施設で麻雀のボランティアも行っている。麻雀を通しておじいちゃん、おばあちゃんとのコミュニケーションがとれれば、という。

部長の佐藤柁弥さん(高等部2年)は「麻雀の大会があるわけではないので、部員それぞれが麻雀を通して何をしたいのか目標をもつて取り組んでほしい」と話している。

部長の佐藤柁弥さん(高等部2年)は「麻雀の大会があるわけではないので、部員それぞれが麻雀を通して何をしたいのか目標をもつて取り組んでほしい」と話している。



麻雀の卓を囲む生徒たち



# 上田高校 NOW

令和5年度の上田高校は、コロナ禍が  
あけて、日常生活が  
徐々に戻ってきました。  
7月の松尾祭の  
一般公開には4千人

の来場者があり、大変な賑わいで  
した。研修旅行は、3泊4日の関  
西旅行でした。インフルエンザの  
罹患者が出て、最終日の行程をと  
りやめて戻ってくることになって  
しまいました。生徒たちは皆、  
楽しかったと喜んでいました。2  
年生は中学校でフル規格の修学旅  
行に行けなかった世代です。県内  
の日帰りや一泊旅行になった中学  
校が多かったそうですから、3泊  
の旅行はさぞや思い出深かったこ  
とでしょう。3年生はしっかりと  
受験に向き合い、成果をあげまし  
た。

先日、剣道班では、OB  
会からのご提案で、能登震  
災で被災した姉妹校石川  
県・七尾高校を試合にお招  
きしました。他にも、生徒  
の課題研究にご助言をいた  
だいたり、社会人講話の講  
師をお願いしたり、同窓生  
の皆様のおかげで生徒の学  
びがますます豊かになって  
います。

今後も上田高校は生徒の  
主体的な学びを後押しする  
学校であり続けたいと思っ  
ます。引き続き温かく見守  
ってくださいますよう、お  
願い申し上げます。

同窓会担当 金井郁夫

お立場で現在の高校  
生を応援いただきたい  
ことを知りまし  
た。心より感謝申し  
上げます。

春休みにはボストン、マニラ、  
カンボジアの3本の海外研修が復  
活しました。SGHの時代から始  
まったもので、コロナ禍では渡航  
できなかつたものの、オンライン  
研修などを続けてきました。海外  
研修は本校の特色でもありますか  
ら、コロナがあけたらぜひ再開し  
たいと思っています。しかしな  
がら、円安や物価高により、費用  
がコロナ前の倍かかってしまうこ  
とが判明しました。それでも大勢  
の参加申し込みがありました。こ  
の高額な費用は頭痛の種でした。こ  
のことについて、同窓会のご協力

で、同窓生の皆様にご支援  
をお願いしたところ、60名  
近い同窓生と2つの同窓組  
織に合計80万円を超えるご  
支援をいただき、おかげさ  
まで、参加者40名に2万円  
ずつの支援金を贈ることが  
できました。ご寄付をいた  
だいた方の中には、ご自身  
が海外に出たからこそ得ら  
れたものがあるから高校生  
にもぜひ体験してほしい、  
というメッセージをお寄せ  
いただいた先輩もいまし  
ます。

3月1日、夜半からのみぞれ交じ  
りの雪も止み、教職員総出の雪かき  
で、卒業生の足元を確保し、式当日  
を迎えました。5年ぶりにほぼ制限  
もなく、多くの保護者の参加の中、  
2023年度の卒業証書授与式が厳  
粛に執り行われました。

式典後は青空が広がり、玄関前の  
ロータリーでは、恒例である班活の  
後輩が先輩を送る風景も復活し、明  
るく華やかに卒業生を送り出すこと  
ができました。激動の今、卒業生の  
未来に幸多かれと願うばかりです。



## 「アフターコロナの上田高校」 上田高等学校校長 宮下美和

関東同窓会の皆様には日ごろか  
ら本校に厚いご支援を賜り、あり  
がとうございます。昨年度1年間  
同窓会とお付き合いをさせていた  
だき、改めて同窓会つながりと  
そのありがたさを感じていること  
です。同窓会組織には、関東同  
窓会のような地域ごとの組織、班  
活のOB会、同期会などさまざま  
な組織があり、それぞれが活発に  
活動されていること、それぞれの

会からのご提案で、能登震  
災で被災した姉妹校石川  
県・七尾高校を試合にお招  
きしました。他にも、生徒  
の課題研究にご助言をいた  
だいたり、社会人講話の講  
師をお願いしたり、同窓生  
の皆様のおかげで生徒の学  
びがますます豊かになって  
います。

金子同窓会長は、在校生への手厚  
い支援を行う上田高校同窓会の姿勢  
と、長い人生の中での同窓生・同窓  
会の重要性、そして今の友人を大切  
にとお話し頂きました

送辞では、コロナ禍で途絶えかけ  
た生徒会活動等の「伝統」を復活  
し、新たな工夫をも加えた卒業学年  
への感謝と、伝統を引き継ぐ決意が  
述べられました。

## 卒業式の報告



### 松奏会は関東同窓会を 応援します

(上田高校吹奏楽団 OBOG 会)

“第10回吹奏楽を楽しむ会”でお会いしましょう!

令和6年9月29日(日) 13:00開演 於: サントミュージゼ大ホール

会長: 百瀬和紀 (58期) 幹事長: 中村真一 (62期)

<http://ueda26shousou.sakura.ne.jp/>





## 一人一人が自分らしく 内面から輝く3年間に 新1学年主任 藤沢衛

上田高校125期総勢3221名が入学しました。この学年は身体的に障がいを持った生徒の入学にあたり、できる支援を工夫し学びやすい環境を提供することに入学前から取り組んできました。自分の置かれた状況を前向きにとらえ努力する彼らの姿は、125期生全員に良い影響を与えてくれると確信しています。すべての活動がコロナ前に戻り、はつらつとした3年間を過ごすため、みんな違っ

てみんないい、一人一人の輝きを大切にしている学年の船出となりました。



125期入学式の様子

## 大きく成長して最上級学年へ 旧2学年主任 横山智典

2学年は、学年目標「至高の望」を掲げてさまざまな活動に取り組んできました。4月には「世界から、地域から、課題解決を考察する」をテーマにアカデミックプレゼンテーションが開催されました。「つばさプロジェクト研修報告」「ヒューマンアクトイン マニラ研修報告」「ポストインスタディープロگرام研修報告」等の課題研究につながるレベルの高い報告会となりました。



京都伏見稲荷大社にて 2023年11月

ました。

11月には「京都・大阪方面への研修旅行」が行われました。コロナ禍で中学校での研修旅行が実施されなかった生徒達にとっては大変楽しみにしていた行事でした。仲間と宿泊、交流し、京都や大阪の歴史や文化に触れ、大きく成長した姿が見られました。

今年度は最上級学年として進路実現を視野に入れた深い学びを目指すこととなります。同窓会の皆様からの変わらぬ温かいご支援をいただけますと幸いです。

## 主体性を育むもの 旧1学年主任 神津純

生徒に時間を返す。日本では「こと」が先行する。「こと」とはつまり形式。与えられたものを学ぶ形に慣らされた者

にとつて、返された時間の使い方を自分で考えねばならぬのは至難の業である。時間を返した(つもり)の我々も、不安でたまらない。彼らは時間をどう使うのだろうか。今年、

国語の課題を減らした。減らすことで時間を返そうというのである。勇気が必要だった。課題の量と学力は比例するという呪縛から逃れられない。

しかし、彼らはどう時間を使ったのかは分からないが、結果という形で不安を解消してくれた。まだまだかも知れない。次は駄目かも知れない。ただ、少し分かったこと、それは「主体性を育むもの」は「信ずること」だということだ。



松尾祭で

## 定時制3修生8名が卒業 旧3学年担任 若林康彦

コロナ禍、真つ只中に入学。学校行事も中止や縮小。思うような学校生活を過ごすことが出来ずに不安ばかりが先立ちましたが、年を追うごとに活気が戻ってきました。

5月の修学旅行では、東京見学とデイズニーシーに行ってきました。グループごとに計画を立て、それをもとに東京見学を行い各々の見識を高めることが出来ました。2日目のデイズニーシーでは開場と同時に終日遊び尽くしました。

3年次の松尾祭では若いエネルギーが存分に発揮されました。数年ぶりにカレーライス・焼きそば・かき氷の販

売が再開され大いに盛り上げることが出来ました。仲間との楽しい思い出は彼らの大事な宝物です。3年間の経験と思いを糧に卒業してからも大いに活躍してくれることを祈っています。



ディズニーシーで

# 上田高校 NOW

# 上田高校 NOW

今後も、上田高校生徒会123期は、生徒や学校のための生徒会として、常に改良を重ねながら、上田高校生徒会独自の色で、活動・運営していきます。その中で、同窓会をはじめ、多くの方々の力をお借りすることになるかもしれませんが、その時は、どうぞよろしくお願いたします。

## 常に改良を重ねながら

### 生徒会長 坂本浩平



上田高校123期生徒会長をやっています。坂本浩平です。

生徒会では全校生徒が渴望していた教室内ゴミ箱の設置や、SNSの活用をした生徒会活動の情報発信、収集を行ったりして、常に生徒の会として、生徒の要望や意見を聞き、それを学校に発信し、実現できるように日々、頑張っています。

他にも、被災地支援活動で他校との連携、交流も行っており、今は募金活動しかできていませんが、今後は被災地高校生支援に重点をおいて活動していこうと思っています。

## 躍進の日々

### クイズ班 班長・中川朝陽

私たちクイズ班は毎日化学室で活動しています。班員全員が和気あいあいとしながらも日々研鑽を積み、お互いを高め合っています。時には音声通話などを駆使し、オンラインで活動を行います。

クイズ班には年に一度大きな大会があります。「全国日本クイズリーグAQL」です。この大会は10人で1チームの団体戦となっています。迎えた12月の甲信越大会、全国大会に進出できるのは上位1チームのみでした。試合で

## ソフトテニス班の状況

### 顧問 櫻井敦 (76期)

コロナ禍での練習規制や新入生入班が少数にとどまるなど厳しい制約下、122期123期中心に日々集中した練習を積み重ねて参りました。新体制発足時、県大会での目標を3回戦進出(団体戦ではベスト8、個人戦ではベスト16)と掲げ、技術力・精神力・戦術向上に向け励みました。

県大会では男子が新人大会、そして総体で団体戦ベスト8、齋藤・浅木組が選抜インドア大会で5位、総体でベスト16と2大会連

は、メンバー同士で声を掛け合い、それぞれが自分の得意な分野では正解を重ね、苦手な分野はカバーし合いました。日々の活動の中で培われた班員同士の仲の良さが発揮され、全勝で初優勝を飾りました。去年あと1勝というところで敗退してしまった我々の悔しさが報われた瞬間でした。

3月の全国大会では名だたる強豪校と戦い、1勝4敗と悔しさの残る結果となりました。しかし全国の舞台で戦えたこと、その中で諦めずに1勝をもぎ取ることができたことは我々の大きな収穫となり、来年へと繋がっていきます。

続での北信越大会進出と、全国大会進出一步手前まで健闘してくれました。また、安藤・花岡組も新人大会・国体1次でのベスト16進出と健闘しました。女子も少人数ではありましたが、男子と切磋琢磨し、高野・松澤組が県新人大会で3回戦まで進出しました。班長中心にまとまって最後まで努力を惜しまず、技術力・集中力を磨いてくれました。健闘を讃えたいと思います。

新入生勧誘で班員を増やし、2015年度以来の全国大会出場を目指し精進したいと思います。OBの皆様の思い出のコートである

皆様からの応援を胸に日々精進してまいります。



令和5年度県総体にて

城跡公園東コートも今年度末にはなくなり、同コートでの「交流会」は最後になりそうです。現役生を鍛えていただければ幸甚です。ご支援に深く感謝申し上げます。

## 「不登校」も成長の証

「じぶんらしく、輝く」

一人ひとりが持つ個性を大切に、

柔軟な教育スタイルときめ細かいサポートで

生徒を笑顔に導きます。

【4つのコース】

◆進学コース ◆美術イラストコース

◆総合エンターテインメントコース ◆ペットアニマルコース

あかし

＜最近の合格実績＞

【国公立】 東京大(医)・東京大・京都大・北京大(医)・京波大(医) 長崎大(医)・東京工大・東京外大・千葉大・新潟大・信州大ほか  
【私立】 早稲田大・慶應大・ICU・上智大・東邦大(医)・東海大(医) 杏林大(医)・北里大(医)・帝京大(医)・明治大・法政大・中央大 青山学院大・東京女子医大・津田塾大・聖心女子大・多摩美大ほか

学校法人 上田桜樹学園 さくら国際高等学校 東京校

東京都渋谷区代々木 1-43-8

Tel 03-3370-0718

http://www.tokyo.sakura-kokusai.ed.jp

理事長・学園長 荒井 裕司 (64期)





# 上田高校 NOW

## 国公立・私立大学合格者増加

同窓会の皆様におかれましては、日ごろから在校生にさまざまなご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。コロナ禍を乗り越え、令和5年度は徐々に通常生活に戻り、学校の教育活動も新たな気持ちでスタートした年となりました。

今年度は共通テスト4年目の年であり、思考力を問う出題が定着してきたところですが、令和6年度からは新学習指導要領による入試の改編もあり、全国的に現役志向が強いという声もありました。それに対し、本校の122期生は安易な進路選択はせず、自分の意志を最後まで貫こうという姿勢が見受けられました。

国公立大学の合格者数は百五十二名であり卒業生数の50%を超えています。(合格者のうちの93%は進学をしています)。また信州大学医学科には三名が現役合格しています。私立大学では、明治大学や中央大学の合格者数が例年より多く、私立大学の受験者数と合格者数はともに昨年より増加しました。122期生の特徴としては、薬学・農学志望者が多く、薬学で10名、農学で15名程度進学しています。また、過年度生では東京大学をはじめ旧帝大に4名合格し進学しています。

今後も個々の希望による進路を目指しますので、ご支援よろしく願います。  
進路指導主事 甲田泰広

### 2024年入試 合格校一覧 (2023年3月卒業生及び既卒者判明分)

上田高校進路室調べ

| 大学名    | 現役  | 既卒 | 大学名    | 現役  | 既卒 | 大学名   | 現役 | 既卒 | 大学名        | 現役 | 既卒 |
|--------|-----|----|--------|-----|----|-------|----|----|------------|----|----|
| 国立大学計  | 120 | 16 | 東京都立   | 4   |    | 駒澤    | 9  |    | 明星         | 5  | 2  |
| 北海道    | 3   | 1  | 横浜市立   | 3   | 2  | 実践女子  | 1  |    | 立教         | 9  | 5  |
| 帯広畜産   | 1   |    | 長岡造形   | 1   |    | 芝浦工業  | 8  | 2  | 立正         | 2  |    |
| 東北     | 3   | 2  | 新潟県立   | 3   |    | 順天堂   | 14 |    | 早稲田        | 5  | 1  |
| 福島     | 1   |    | 新潟県立看護 | 1   |    | 上智    | 2  |    | 神奈川        | 7  | 2  |
| 茨城     | 2   |    | 富山県立   | 1   |    | 昭和    | 1  |    | 神奈川工科      |    | 2  |
| 筑波     | 2   |    | 都留文科   | 2   | 2  | 昭和三科  | 6  |    | 関東学院       | 1  |    |
| 宇都宮    | 2   |    | 長野県看護  | 1   |    | 成蹊    | 2  |    | 相模女子       | 2  |    |
| 群馬     | 8   |    | 長野県立   | 4   |    | 成城    | 1  |    | 横浜美術       | 1  |    |
| 埼玉     | 3   | 1  | 諏訪東京理科 |     | 1  | 専修    | 13 |    | 新潟医療福祉     | 2  |    |
| 千葉     | 4   | 1  | 岐阜薬科   | 1   |    | 大東文化  | 5  | 2  | 金沢学院       | 1  |    |
| 電気通信   | 2   |    | 愛知県立芸術 |     | 1  | 玉川    | 4  |    | 金沢工業       | 8  | 1  |
| 東京     |     | 1  | 私立大学計  | 442 | 73 | 多摩美術  | 3  |    | 北陸学院       | 1  |    |
| 東京医科歯科 | 1   |    | 酪農学園   |     | 1  | 中央    | 21 |    | 山梨学院       | 1  |    |
| 東京外国語  | 2   |    | 岩手医科   |     | 1  | 津田塾   | 3  |    | 佐久         | 4  |    |
| 東京学芸   | 5   |    | 国際医療福祉 | 5   | 1  | 帝京    | 1  |    | 清泉女学院      | 4  |    |
| 東京工業   |     | 1  | 自治医科   |     | 1  | 東海    | 5  | 1  | 長野保健医療     | 4  |    |
| 東京農工   | 2   | 1  | 群馬パース  | 2   |    | 東京音楽  | 2  |    | 松本         | 2  | 1  |
| 横浜国立   | 3   | 1  | 高崎健康福祉 | 8   |    | 東京家政  | 1  |    | 岐阜聖徳学園     | 2  |    |
| 新潟     | 5   |    | 浦和     |     | 2  | 東京経済  | 2  |    | 愛知学院       | 3  |    |
| 富山     | 15  | 2  | 城西     | 1   |    | 東京工科  | 4  |    | 信山女学園      | 2  |    |
| 金沢     | 11  | 1  | 埼玉医科   | 1   |    | 東京工芸  | 2  |    | 中京         | 2  |    |
| 福井     | 2   |    | 獨協     | 1   |    | 東京女子  | 3  |    | 名古屋外国語     | 4  |    |
| 山梨     | 2   |    | 日本医療科学 | 1   | 1  | 東京造形  | 2  |    | 南山         | 2  |    |
| 信州     | 25  | 1  | 文教     | 10  |    | 東京電機  | 2  | 2  | 長浜バイオ      | 1  |    |
| 静岡     | 5   | 1  | 常磐     |     | 2  | 東京都市  | 4  |    | 京都産業       |    | 1  |
| 名古屋    | 2   |    | 秀明     |     | 1  | 東京農業  | 14 |    | 京都女子       | 3  |    |
| 滋賀     | 1   |    | 淑徳     | 1   |    | 東京薬科  | 1  |    | 同志社        | 3  |    |
| 京都     | 1   |    | 千葉工業   | 7   | 2  | 東京理科  | 5  | 1  | 佛教         | 1  |    |
| 大阪     | 3   | 1  | 中央学院   |     | 2  | 東邦    | 6  |    | 立命館        | 11 | 4  |
| 神戸     | 1   |    | 青山学院   | 6   | 2  | 東洋    | 21 | 11 | 龍谷         | 1  | 2  |
| 広島     | 1   |    | 亜細亜    | 1   |    | 日本    | 9  | 3  | 大阪芸術       | 1  |    |
| 徳島     |     | 1  | 桜美林    | 1   |    | 日本女子  | 2  |    | 関西         | 1  |    |
| 高知     | 1   |    | 大妻女子   | 2   |    | 文化学園  | 1  |    | 近畿         | 10 | 1  |
| 九州     | 1   |    | 学習院    | 2   | 1  | 法政    | 33 | 2  | 関西学院       | 1  | 1  |
| 公立大学計  | 32  | 6  | 北里     | 11  | 2  | 星薬科   | 6  |    | 神戸薬科       | 1  |    |
| 旭川市立   | 1   |    | 杏林     | 2   |    | 武蔵    | 2  |    |            |    |    |
| 群馬県立女子 | 1   |    | 慶應義塾   | 1   | 1  | 武蔵野   | 8  | 1  | 私立短期大学     | 1  | 2  |
| 高崎経済   | 4   |    | 工学院    | 4   | 1  | 武蔵野美術 | 5  |    | 海外進学(準備)   | 3  |    |
| 前橋工科   | 2   |    | 國學院    | 4   |    | 明治    | 22 | 3  | 文部科学省所管外大校 |    | 1  |
| 茨城県立医療 | 1   |    | 国際基督教  | 1   |    | 明治学院  | 5  |    | 専門学校等      | 3  |    |
| 埼玉県立   | 2   |    | 国士館    |     | 1  | 明治薬科  | 2  |    |            |    |    |

# 《年会費納入者一覧 (2024年3月末現在)》

- ▶年会費納入にご協力いただき、ありがとうございます。一覧は2023年以降の年会費を納入された方です。
- ▶名前の後の数字はその年度まで納入したことを示しています。(例：2024=2024年度まで納入済み)
- ▶年度4月から満80歳を迎える期の会員は納入免除です。
- ▶過年度分未納の方は、さかのぼって納入する必要はありません。納めていただいた時点からカウントします。

※お問い合わせ先：事務局（幹事長）平林一央まで

TEL：03-5201-3979（関東同窓会事務所） e-mail：hirabayashi.kazuo@nifty.com

|       |      |        |      |       |      |       |      |       |      |        |      |       |      |
|-------|------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|--------|------|-------|------|
| 磯村雄二  | 2027 | 室賀太郎   | 2028 | 浅井保雄  | 2028 | 安間 襄  | 2024 | 櫻井資悦  | 2023 | 小宮山栄   | 2027 | 【47期】 |      |
| 伊田 賢  | 2026 | 諸岡健児   | 2026 | 有賀幾夫  | 2024 | 山岸憲雄  | 2024 | 清水侯博  | 2025 | 柴田義人   | 2024 | 上原 亨  | 2026 |
| 一條光枝  | 2023 | 柳沢昌俊   | 2026 | 伊藤宗男  | 2023 | 山岸文明  | 2025 | 関 和明  | 2024 | 瀬下正利   | 2025 | 関本秀治  | 2025 |
| 一瀬清治  | 2026 | 柳澤敏雄   | 2024 | 岩井重一  | 2037 | 渡辺俊彦  | 2027 | 関本桂子  | 2024 | 竹内 仁   | 2024 | 土屋 博  | 2030 |
| 一場美智子 | 2023 | 吉池貴美   | 2024 | 上原隆一  | 2025 | 【61期】 |      | 高橋謙夫  | 2023 | 立岩 環   | 2030 | 【49期】 |      |
| 奥村恭子  | 2030 | 【63期】  |      | 岡村文一  | 2023 | 新井袈裟光 | 2023 | 千野裕明  | 2023 | 長崎哲夫   | 2023 | 小林恒雄  | 2023 |
| 小野沢常裕 | 2028 | 青木泰信   | 2024 | 片山隆行  | 2027 | 池田 稔  | 2024 | 西沢正浩  | 2024 | 中村甲治   | 2024 | 龍岡 櫻  | 2023 |
| 片桐昭夫  | 2025 | 飯島俊文   | 2027 | 川上千明  | 2027 | 石井茂雄  | 2024 | 萩原清人  | 2026 | 中山英之   | 2027 | 松岡秀夫  | 2026 |
| 北原巖男  | 2027 | 飯島正文   | 2026 | 木内和宣  | 2023 | 市川五朗  | 2026 | 長谷川久二 | 2023 | 堀内辰男   | 2024 | 【50期】 |      |
| 木村廣三  | 2024 | 飯塚一雄   | 2025 | 栗山正雄  | 2024 | 市川武伸  | 2028 | 羽田幸善  | 2023 | 山極卓也   | 2023 | 小山洋之介 | 2030 |
| 窪田 実  | 2028 | 市村武次   | 2029 | 小出勝利  | 2025 | 井出眞鐵  | 2023 | 堀部孝久  | 2024 | 【57期】  |      | 竹内啓爾  | 2026 |
| 熊坂一成  | 2025 | 大井俊彦   | 2024 | 合津武雄  | 2024 | 井出孝光  | 2024 | 本郷達郎  | 2023 | 伊藤紘二   | 2023 | 宮本嘉興  | 2023 |
| 小林武男  | 2028 | 大塚和弘   | 2024 | 児玉一江  | 2024 | 井上 剛  | 2023 | 町田克二  | 2027 | 櫻本金二   | 2026 | 渡邊洋一  | 2029 |
| 小林千修  | 2030 | 河西郁男   | 2026 | 小沼照彦  | 2023 | 上原勝二郎 | 2026 | 水出清仁  | 2023 | 尾和尚人   | 2024 | 【51期】 |      |
| 小松正佳  | 2023 | 金沢嘉昌   | 2029 | 小林正樹  | 2024 | 内山澄孝  | 2024 | 宮下博文  | 2024 | 加賀美欣二郎 | 2026 | 浅野井哲  | 2024 |
| 佐藤弘徳  | 2027 | 上條和祥   | 2026 | 小林美智子 | 2023 | 小牟猛生  | 2037 | 柳澤建夫  | 2029 | 桑原恒雄   | 2024 | 上原隆雄  | 2023 |
| 佐鳥利行  | 2023 | 川村恭司   | 2023 | 小林圭一  | 2027 | 大澤裕吉  | 2023 | 【60期】 |      | 小島吉男   | 2026 | 太田幸男  | 2024 |
| 塩川伸明  | 2027 | 神林 森   | 2025 | 小山平六  | 2026 | 大澤義隆  | 2026 | 青柳啓行  | 2025 | 近藤正輝   | 2023 | 浦生卓磨  | 2035 |
| 島田彰男  | 2023 | 北佳不二男  | 2031 | 近藤晃理  | 2035 | 荻原隆治  | 2025 | 池田孝藏  | 2024 | 野田晃弘   | 2023 | 佐藤隆俊  | 2023 |
| 清水安雄  | 2023 | 木村公平   | 2026 | 斎藤実敏  | 2027 | 尾和正暉  | 2048 | 池田 雍  | 2025 | 箱山 雍   | 2023 | 長谷川孝一 | 2026 |
| 清水 計枝 | 2026 | 小林諒一   | 2024 | 酒井伸二郎 | 2024 | 笠井徳爾  | 2029 | 井上 茂  | 2023 | 畑 勲    | 2023 | 堀内弘栄  | 2023 |
| 白井 彰  | 2028 | 佐伯謙吾   | 2027 | 佐藤澄江  | 2027 | 岸田 勇  | 2024 | 上原惇子  | 2024 | 細田 衛   | 2032 | 母袋博一  | 2027 |
| 春原和民  | 2023 | 塩澤清文   | 2030 | 塩入睦夫  | 2023 | 沓掛 忠  | 2025 | 大橋邦夫  | 2025 | 本田 健   | 2023 | 【52期】 |      |
| 高梨芳男  | 2027 | 塩野入幸一  | 2030 | 塩入功三  | 2023 | 久保田敬雄 | 2023 | 荻原武仁  | 2023 | 松木 功   | 2032 | 青木 功  | 2041 |
| 滝澤明憲  | 2026 | 下村祐一   | 2023 | 清水輝夫  | 2026 | 栗谷川洋  | 2025 | 尾上朝子  | 2025 | 森田紀武   | 2024 | 石合正和  | 2024 |
| 竹内中和  | 2025 | 関田正幸   | 2023 | 正村真治  | 2027 | 神津久幸  | 2024 | 風間文彦  | 2026 | 渡辺孝幸   | 2024 | 荻原静寿  | 2027 |
| 田中耕一  | 2025 | 高寺 学   | 2024 | 鈴木綾子  | 2032 | 神津英明  | 2024 | 北村友和  | 2028 | 渡辺静雄   | 2027 | 小林俊憲  | 2026 |
| 辻佐知子  | 2027 | 高見沢治   | 2024 | 関 祥行  | 2029 | 小林宣光  | 2025 | 沓掛行徳  | 2025 | 【58期】  |      | 小林孝典  | 2024 |
| 寺西孝昭  | 2027 | 滝沢鐵夫   | 2027 | 高梨奉男  | 2027 | 小山忠顯  | 2029 | 黒澤博身  | 2025 | 青木 淳   | 2023 | 若川 一  | 2026 |
| 直井隆徳  | 2027 | 武井長久   | 2025 | 高松郁夫  | 2028 | 小山 満  | 2025 | 小関夏子  | 2025 | 井澤 敬   | 2029 | 若林英鋭  | 2023 |
| 中西載慶  | 2028 | 竹内伍郎   | 2025 | 滝澤 淳  | 2026 | 坂井英樹  | 2023 | 小松有也  | 2023 | 伊東啓治   | 2028 | 【53期】 |      |
| 中山 敏  | 2026 | 田中将揮   | 2025 | 滝沢 伸吉 | 2024 | 篠原敬一  | 2024 | 小山比呂志 | 2023 | 伊藤文明   | 2024 | 坂口茂廣  | 2023 |
| 西沢安彦  | 2023 | 田中 稔   | 2027 | 瀧澤 晃  | 2026 | 清水忠勝  | 2024 | 櫻井修一  | 2023 | 大井秀三郎  | 2023 | 武重賢治  | 2027 |
| 野村 一  | 2028 | 内藤秀気   | 2028 | 田口象二郎 | 2030 | 清水正睦  | 2024 | 清水敏弘  | 2023 | 大日向寛敏  | 2023 | 服部聡一郎 | 2041 |
| 林久美子  | 2025 | 中澤秀夫   | 2024 | 竹 潤 稔 | 2026 | 關 勝   | 2023 | 関 一嘉  | 2026 | 金子親碩   | 2026 | 半田義昭  | 2024 |
| 樋村明久  | 2025 | 成澤三雄   | 2029 | 田島善光  | 2028 | 滝澤 進  | 2031 | 袖山 脩  | 2025 | 鎌原昭治   | 2025 | 【54期】 |      |
| 松高賢一  | 2023 | 西澤文昭   | 2028 | 土屋和猛  | 2025 | 田澤 洋  | 2024 | 鷹野芳機  | 2026 | 久保田達夫  | 2028 | 石原澄江  | 2024 |
| 宮坂信之  | 2027 | 橋詰 徹   | 2026 | 土屋郁夫  | 2024 | 龍野義尚  | 2024 | 竹倉征詞  | 2025 | 小池 晃   | 2024 | 小林勝利  | 2023 |
| 宮地研二  | 2023 | 藤川 昇   | 2028 | 富田光明  | 2024 | 玉木純雄  | 2023 | 田中武夫  | 2025 | 小山 泰   | 2026 | 田中嘉親  | 2030 |
| 宮下明子  | 2023 | 保坂証司   | 2028 | 永井正夫  | 2025 | 成沢文計  | 2024 | 田中良樹  | 2023 | 清水壽一   | 2023 | 中村忠勝  | 2023 |
| 村居次雄  | 2030 | 保屋野美智子 | 2026 | 中澤裕治  | 2027 | 野口文武  | 2024 | 田中 節  | 2026 | 城下 尚   | 2024 | 橋田ちせ  | 2024 |
| 矢ヶ崎智  | 2024 | 堀内敏文   | 2025 | 長澤勝彦  | 2025 | 野田久代  | 2025 | 田中一穂  | 2023 | 土屋毎雄   | 2026 | 福田斎一  | 2025 |
| 柳沢篤俊  | 2027 | 松本有造   | 2025 | 中嶋正博  | 2025 | 橋詰研一  | 2025 | 田中俊郎  | 2025 | 手塚洋兵   | 2023 | 藤村延魚  | 2029 |
| 柳澤信義  | 2027 | 松山 久   | 2024 | 中曾根弓夫 | 2025 | 林 勝秋  | 2023 | 塚田 晃  | 2026 | 寺島紘二   | 2028 | 前田喜美子 | 2031 |
| 山崎一郎  | 2026 | 水野 隆   | 2028 | 中野敬三  | 2032 | 堀内寿美  | 2025 | 戸塚武雄  | 2024 | 堀内 昭   | 2025 | 宮澤壮介  | 2025 |
| 山本淳一  | 2024 | 三井好行   | 2026 | 中村房子  | 2026 | 町田 章  | 2025 | 長崎 誠  | 2024 | 宮川克彦   | 2028 | 【55期】 |      |
| 【65期】 |      | 宮島正紀   | 2025 | 中村幸一  | 2026 | 松尾英昭  | 2025 | 中島敏男  | 2026 | 宮下秀久   | 2024 | 木村和幸  | 2023 |
| 赤尾晴夫  | 2029 | 武捨良一   | 2023 | 中村眞一  | 2024 | 三井文人  | 2027 | 西沢国隆  | 2026 | 宮原清明   | 2023 | 倉見英一  | 2025 |
| 岩崎和雄  | 2024 | 矢島正晴   | 2025 | 中山君平  | 2024 | 宮坂 清  | 2025 | 羽毛田信  | 2025 | 矢嶋瑞夫   | 2023 | 坂口宏明  | 2023 |
| 岩崎ひとみ | 2024 | 山浦成子   | 2024 | 西澤邦宣  | 2023 | 宮島英紀  | 2030 | 久田英保  | 2030 | 吉池千冬   | 2023 | 塚田忠夫  | 2023 |
| 上原澄子  | 2024 | 山浦善樹   | 2024 | 橋詰剛史  | 2031 | 宮本和子  | 2024 | 福嶋 宣  | 2024 | 吉池正樹   | 2023 | 土屋 務  | 2024 |
| 上原 昇  | 2049 | 山極真咲   | 2025 | 別府直苗  | 2025 | 麦島和子  | 2025 | 古川 敦  | 2024 | 依田康徳   | 2023 | 樋口宣明  | 2026 |
| 内堀 信  | 2024 | 山本寿美子  | 2028 | 牧野紀明  | 2033 | 望月 信  | 2028 | 松井石根  | 2027 | 【59期】  |      | 宮島光男  | 2024 |
| 宇野直幸  | 2024 | 若林英也   | 2026 | 松井由美  | 2040 | 諸岡征之  | 2031 | 松木 強  | 2025 | 有賀勝雄   | 2024 | 【56期】 |      |
| 大野正広  | 2026 | 渡辺常男   | 2026 | 宮坂和夫  | 2024 | 山浦次郎  | 2025 | 松林純夫  | 2024 | 石崎吉宏   | 2023 | 赤尾信吉  | 2023 |
| 岡田 修  | 2023 | 【64期】  |      | 宮坂信章  | 2025 | 由井 崇  | 2025 | 丸山久勝  | 2024 | 大日方勝利  | 2040 | 上原清治  | 2024 |
| 折井正博  | 2031 | 浅井康彦   | 2027 | 宮崎信二  | 2027 | 【62期】 |      | 武藤義勝  | 2028 | 小林芳友   | 2023 | 大日方昂  | 2025 |
| 柿崎良男  | 2028 | 荒井裕司   | 2028 | 村上國夫  | 2024 | 青柳健次  | 2024 | 森田英明  | 2025 | 小林朋晃   | 2023 | 金井浩三  | 2038 |
| 菊地暁子  | 2032 | 石井則男   | 2033 | 村川誠子  | 2025 | 秋田 勇  | 2028 | 両角 聡  | 2026 | 小林義典   | 2059 | 神津 進  | 2025 |





|        |      |        |      |        |      |        |      |       |      |       |      |       |      |
|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 畑 芳春   | 2026 | 荻原久俊   | 2038 | 北澤 豪   | 2030 | 宮澤 広   | 2028 | 高橋武義  | 2029 | 竹内裕二  | 2025 | 倉沢よりえ | 2023 |
| 林 義也   | 2024 | 荻原正典   | 2026 | 倉沢 進   | 2026 | 宮原光男   | 2025 | 竹内信明  | 2024 | 田中 修  | 2029 | 甲田幹夫  | 2024 |
| 広田徳明   | 2024 | 荻原眞一   | 2032 | 氣田夏子   | 2028 | 村松和雄   | 2027 | 多胡千恵子 | 2024 | 田中 茂  | 2026 | 小林淳一  | 2024 |
| 深澤たみ子  | 2023 | 唐澤 健   | 2024 | 小宮山修邦  | 2031 | 山村由紀子  | 2026 | 土屋耕太郎 | 2029 | 田村和枝  | 2024 | 小林国雄  | 2026 |
| 福井正彦   | 2027 | 狩谷 梨栄子 | 2027 | 小山志保子  | 2023 | 吉村邦彦   | 2030 | 土屋正道  | 2024 | 塚田敏夫  | 2024 | 小山佳朗  | 2025 |
| 藤澤 靖   | 2027 | 川村 真   | 2025 | 酒井利治   | 2025 | 依田隆文   | 2030 | 円谷和枝  | 2025 | 中沢廣重  | 2026 | 櫻田喜眞穂 | 2024 |
| 宮原武志   | 2024 | 工藤弘子   | 2026 | 佐藤哲夫   | 2027 | 【70期】  |      | 中澤晋哉  | 2024 | 茂木俊郎  | 2024 | 笹沢政利  | 2028 |
| 横山佳弘   | 2024 | 小宮山伸之  | 2039 | 芝間志浩   | 2029 | 安藤 哲   | 2023 | 中島みどり | 2030 | 柳澤公雄  | 2028 | 佐藤徹郎  | 2024 |
| 【77期】  |      | 坂口洋三   | 2033 | 渋谷紀久   | 2025 | 伊藤彰紀   | 2026 | 中村隆明  | 2024 | 山岸 豊  | 2024 | 真山 享  | 2032 |
| 岩下 浩   | 2027 | 佐藤一雄   | 2023 | 関 博明   | 2023 | 大橋志津江  | 2025 | 西沢 悟  | 2028 | 山極正直  | 2023 | 澤崎健一  | 2023 |
| 押金 勉   | 2024 | 竹内敏尚   | 2024 | 関 雄二   | 2032 | 川井秀人   | 2025 | 平林美穂  | 2027 | 山邊樹久生 | 2024 | 塩川明男  | 2027 |
| 沖 健治   | 2024 | 田子 昇   | 2027 | 滝沢秀彦   | 2028 | 君波昭治   | 2025 | 福澤 弘  | 2027 | 山邊豊文  | 2027 | 柴田正文  | 2023 |
| 片岡拓雄   | 2029 | 田村高志   | 2030 | 竹下昌彦   | 2025 | 小林繁久   | 2026 | 牧野平二  | 2024 | 米山みづ江 | 2024 | 清水俊文  | 2024 |
| 川村卓也   | 2025 | 土屋浩子   | 2026 | 田中 誠   | 2032 | 小林則夫   | 2025 | 増澤 章  | 2023 | 米山幸雄  | 2027 | 神宮 進  | 2025 |
| 岸 豊子   | 2041 | 土屋三千夫  | 2024 | 谷口 靖   | 2026 | 小松尚志   | 2023 | 松山研治  | 2026 | 【67期】 |      | 高畑悟郎  | 2025 |
| 草間和幸   | 2037 | 戸塚誠一   | 2029 | 田村順一   | 2028 | 佐藤秀紀   | 2030 | 水越規容子 | 2031 | 石井 豊  | 2035 | 滝川幸子  | 2024 |
| 神津富治男  | 2024 | 名倉俊一   | 2025 | 塚原三喜夫  | 2024 | 白沢 稔   | 2025 | 宮川俊晴  | 2027 | 石田清典  | 2029 | 滝沢克俊  | 2024 |
| 小林久人   | 2024 | 林 幸平   | 2024 | 土田知則   | 2023 | 井井 宏   | 2024 | 宮坂邦夫  | 2032 | 一宮眞理  | 2023 | 瀧沢政規  | 2023 |
| 小松義明   | 2025 | 三ツ井克則  | 2027 | 寺嶋正明   | 2024 | 征矢野進一  | 2026 | 宮崎直之  | 2025 | 岩崎 章  | 2028 | 田口令子  | 2024 |
| 佐藤之俊   | 2024 | 三ツ井優子  | 2027 | 轟 隆一   | 2025 | 高橋淳子   | 2024 | 宮澤一幸  | 2029 | 上田 潔  | 2029 | 武澤美佐子 | 2025 |
| 佐藤一男   | 2027 | 宮下研也   | 2023 | 長坂武見   | 2039 | 田中茂雄   | 2024 | 山浦雄一  | 2023 | 内山 隆  | 2024 | 田中 昇  | 2026 |
| 清水敬介   | 2029 | 柳沢秀枝   | 2032 | 中澤一治   | 2027 | 田中正行   | 2024 | 山井 馨  | 2025 | 大井 隆  | 2027 | 田中由紀子 | 2024 |
| 下村恭子   | 2030 | 依田 研   | 2024 | 福田礼子   | 2036 | 土屋巳紀   | 2026 | 山本近雄  | 2026 | 大井健太  | 2027 | 田村栄治  | 2027 |
| 関 和彦   | 2023 | 【75期】  |      | 船渡和男   | 2025 | 中村建哉   | 2027 | 横山佐苗  | 2023 | 金井正美  | 2024 | 塚田道明  | 2030 |
| 高橋則博   | 2026 | 一之瀬康利  | 2026 | 保科健二   | 2028 | 中村 冠   | 2025 | 若林 敏  | 2025 | 沓掛正樹  | 2025 | 土屋富志夫 | 2023 |
| 高山邦明   | 2026 | 井出 淳   | 2026 | 松崎 徹   | 2026 | 林 融    | 2025 | 和田忠彦  | 2025 | 小林みゆき | 2024 | 手塚幸次  | 2026 |
| 手塚光彦   | 2030 | 今野ゆり子  | 2023 | 村田耕作   | 2030 | 藤野里美   | 2026 | 和田千春  | 2025 | 小松康夫  | 2028 | 戸叶秀晴  | 2023 |
| 丸山剛生   | 2025 | 荻原 上   | 2023 | 矢嶋陽介   | 2024 | 丸山幸夫   | 2024 | 【69期】 |      | 小山正樹  | 2024 | 仲澤 正  | 2026 |
| 柳沢宗男   | 2024 | 片桐敏郎   | 2074 | 矢島基美   | 2029 | 丸山清光   | 2023 | 相場育男  | 2025 | 坂口正高  | 2025 | 中曾根隆義 | 2026 |
| 山崎利明   | 2025 | 川畑久仁子  | 2028 | 山崎初美   | 2027 | 緑川正博   | 2028 | 青柳真二  | 2024 | 坂口公一  | 2024 | 中村宣夫  | 2025 |
| 山住 昇   | 2026 | 小泉行徳   | 2023 | 依田 昌樹  | 2024 | 【71期】  |      | 浅野祐三  | 2025 | 坂本正樹  | 2027 | 中山正光  | 2025 |
| 渡辺 毅   | 2025 | 糀谷陽子   | 2025 | 渡邊温子   | 2029 | 青木俊幸   | 2023 | 荒木久文  | 2023 | 高木信一  | 2025 | 成澤文和  | 2023 |
| 【78期】  |      | 小林正宏   | 2024 | 【73期】  |      | 青松英男   | 2026 | 荒木由美子 | 2023 | 高木和幸  | 2025 | 西澤省悟  | 2026 |
| 五十嵐紀元  | 2026 | 春原一道   | 2023 | 青木利之   | 2025 | 赤木千江子  | 2026 | 池田泰子  | 2028 | 高儀早苗  | 2026 | 馬場和幸  | 2025 |
| 内田邦子   | 2049 | 関 要司   | 2026 | 青柳 勤   | 2023 | 荒木 亮   | 2025 | 池田有美子 | 2030 | 田中啓子  | 2026 | 原田義則  | 2032 |
| 鵜殿理枝   | 2023 | 関口徹雄   | 2027 | 石坂敦子   | 2028 | 岩下秀子   | 2027 | 石橋 務  | 2023 | 谷合裕子  | 2026 | 牧野泰晴  | 2026 |
| 神林尚秀   | 2025 | 大工原潤   | 2028 | 梅原裕子   | 2026 | 工藤弘文   | 2026 | 磯貝隼人  | 2025 | 土屋英子  | 2024 | 牧野信明  | 2023 |
| 神津裕美   | 2024 | 滝澤律夫   | 2027 | 大久保政男  | 2023 | 小林秀一   | 2026 | 磯野玲子  | 2026 | 堤 達   | 2028 | 丸山敏明  | 2025 |
| 河野えり子  | 2031 | 滝沢正登   | 2024 | 大貫日出子  | 2026 | 小林一輝   | 2024 | 上田修司  | 2026 | 西川明子  | 2023 | 丸山道隆  | 2025 |
| 小林 恒雄  | 2023 | 田中賢治   | 2023 | 奥田真知子  | 2024 | 小林英夫   | 2023 | 生方健二郎 | 2032 | 林 千春  | 2025 | 丸山暢久  | 2031 |
| 小松正行   | 2024 | 田村明美   | 2024 | 尾台通久   | 2025 | 小林孝弘   | 2024 | 遠藤和美  | 2023 | 原田健治  | 2025 | 宮川三   | 2028 |
| 下形悦章   | 2026 | 塚田勝彦   | 2025 | 掛川治男   | 2027 | 小牧秀子   | 2032 | 小川 亮夫 | 2028 | 松崎秀樹  | 2023 | 宮澤 憲一 | 2025 |
| 竹花真理子  | 2023 | 手塚 悟   | 2029 | 川上幸則   | 2027 | 斎藤康博   | 2027 | 尾立孝司  | 2027 | 松本哲夫  | 2025 | 宮原 豊  | 2035 |
| 田村理恵   | 2028 | 戸矢崎弘美  | 2023 | 河野嘉子   | 2024 | 白木一彦   | 2027 | 蟹江由美子 | 2027 | 丸山博見  | 2023 | 村山幸男  | 2028 |
| 中嶋隆夫   | 2028 | 樋田成人   | 2024 | 棚沢良和   | 2025 | 神宮 正   | 2025 | 河合 勝  | 2024 | 水島良子  | 2024 | 森 則雄  | 2023 |
| 西入秀明   | 2026 | 中村和久   | 2025 | 黒沢孝雄   | 2026 | 杉崎経雄   | 2025 | 河合紀美子 | 2024 | 村越 進  | 2024 | 矢島哲夫  | 2027 |
| 星野敦子   | 2025 | 平林一央   | 2029 | 神津秀章   | 2025 | 高木公彦   | 2033 | 倉沢 裕  | 2028 | 山崎 哲  | 2027 | 瀧沢賢次  | 2026 |
| 増田則夫   | 2023 | 丸山 誓   | 2026 | 小須田道彦  | 2024 | 茅野昌義   | 2025 | 黒崎政和  | 2025 | 山下一雄  | 2033 | 【66期】 |      |
| 水野光利   | 2024 | 宮島省吾   | 2027 | 小平康人   | 2023 | 中沢庄平   | 2024 | 黒田英臣  | 2023 | 山本修士  | 2026 | 秋山信悟  | 2024 |
| 宮島剛直   | 2024 | 宮島久幸   | 2026 | 駒津和彦   | 2023 | 中谷夕紀子  | 2031 | 桑原邦寿  | 2031 | 渡邊信幸  | 2025 | 浅野俊二  | 2024 |
| 山崎憲一   | 2024 | 小山絹子   | 2027 | 小宮山秀樹  | 2028 | 新津和明   | 2024 | 小池明夫  | 2026 | 【68期】 |      | 池田頼雄  | 2025 |
| 吉田和子   | 2029 | 森 淳夫   | 2026 | 酒井利夫   | 2028 | 長谷川敏雄  | 2030 | 小池宗夫  | 2025 | 青沼 正人 | 2027 | 石井茂夫  | 2028 |
| 和田剛浩   | 2025 | 森岡みどり  | 2026 | 塩入 修   | 2024 | 増田尚紀   | 2025 | 小泉 薫  | 2024 | 石井 清  | 2024 | 石黒初枝  | 2024 |
| 渡邊 博   | 2030 | 柳沢幸治   | 2031 | 須賀道郎   | 2024 | 南澤 巖   | 2024 | 甲田 豊  | 2028 | 石井英俊  | 2025 | 市川正雄  | 2023 |
| 【79期】  |      | 山住卓治   | 2023 | 須貝 博   | 2024 | 宮崎 徹   | 2024 | 小林真人  | 2026 | 石垣洋子  | 2024 | 大石雄司  | 2030 |
| 井出浩一   | 2024 | 山田美紀   | 2024 | 関 博幸   | 2025 | 望月亮子   | 2035 | 近藤正昭  | 2025 | 稲寺 隆  | 2025 | 大久保健仁 | 2023 |
| 今井 明   | 2050 | 横田光幸   | 2025 | 芹沢一雄   | 2027 | 柳沢幸夫   | 2033 | 坂口幸世  | 2024 | 井上明美  | 2023 | 大塚信郎  | 2027 |
| 荻原 貴   | 2032 | 和氣寿子   | 2023 | 竹瀝賢一   | 2035 | 吉池豊    | 2030 | 佐藤介伊三 | 2025 | 碓田 茂  | 2026 | 岡野洋子  | 2028 |
| 木村範子   | 2026 | 和田 匡   | 2023 | 土屋秀俊   | 2023 | 吉本篤史   | 2026 | 清水龍夫  | 2025 | 太田康夫  | 2024 | 鬼久保潤一 | 2023 |
| 倉沢卓見   | 2025 | 【76期】  |      | 土屋元一   | 2027 | 若林典雄   | 2024 | 関 和義  | 2024 | 織田辰郎  | 2024 | 笠原英明  | 2028 |
| 黒坂 淳   | 2023 | 赤池武志   | 2024 | 中村節子   | 2024 | 和久津智恵子 | 2027 | 高橋 実  | 2024 | 尾台孝男  | 2026 | 北沢 博  | 2029 |
| 小林優子   | 2023 | 内山憲一   | 2024 | 橋爪尚子   | 2023 | 【72期】  |      | 高見沢一彦 | 2027 | 金子元昭  | 2032 | 北澤英男  | 2024 |
| 小林 均   | 2025 | 大河園子   | 2023 | 橋爪尚子   | 2023 | 青沼 泉   | 2027 | 龍野 広  | 2023 | 鴨田幸枝  | 2027 | 北島良男  | 2026 |
| 小松純子   | 2033 | 金井一正   | 2031 | 橋詰富博   | 2034 | 浅沼 徹   | 2030 | 土屋文男  | 2024 | 工藤敏夫  | 2029 | 黒坂正文  | 2024 |
| 坂田尚美   | 2025 | 小島 玲   | 2025 | 福内 敦   | 2025 | 井出 弘   | 2023 | 柄原重文  | 2030 | 窪田 進  | 2026 | 黒柳直幸  | 2027 |
| 笹沢英生   | 2024 | 小林忠利   | 2027 | 藤田友子   | 2024 | 伊藤千瑞子  | 2032 | 中澤英和  | 2023 | 小林照明  | 2024 | 小林周一  | 2023 |
| 佐藤 三枝子 | 2026 | 佐藤美恵子  | 2034 | 堀内秀雄   | 2024 | 今井一郎   | 2026 | 西澤孝明  | 2025 | 小林 誠  | 2025 | 笹澤和平  | 2030 |
| 清水雄至   | 2031 | 清水順三   | 2029 | 宮澤 誠   | 2025 | 岩崎裕治   | 2023 | 西嶋 正  | 2045 | 小林陽輔  | 2025 | 塩野崎英二 | 2025 |
| 鈴木由加   | 2026 | 清水純子   | 2027 | 宮下克彦   | 2025 | 榎本美智子  | 2023 | 野口英行  | 2024 | 小林 明  | 2025 | 清水 理  | 2025 |
| 竹鼻ゆかり  | 2028 | 芹澤雄二   | 2029 | 柳澤和也   | 2024 | 大井信幸   | 2023 | 藤谷芳子  | 2027 | 小山 実  | 2027 | 清水通男  | 2032 |
| 田中秀樹   | 2027 | 高池裕子   | 2025 | 【74期】  |      | 奥山利幸   | 2025 | 古畑克巳  | 2032 | 佐藤能延  | 2025 | 菅沼恵子  | 2025 |
| 輪澤光晴   | 2025 | 田原 計   | 2027 | 青木 彰   | 2026 | 掛川洋二   | 2023 | 細萱文彦  | 2025 | 塩野入文雄 | 2032 | 清野勝芳  | 2026 |
| 仲村久美   | 2025 | 土屋久幸   | 2023 | 飯嶋俊樹   | 2023 | 柏木敬子   | 2024 | 本村龍生  | 2036 | 芝間伸剛  | 2031 | 関口 信  | 2023 |
| 中村憲治   | 2026 | 瀧澤省一   | 2028 | 伊藤 寛一郎 | 2029 | 金井康志   | 2029 | 前田啓子  | 2024 | 清水洋一  | 2040 | 田口 博  | 2032 |
| 梨子田雅直  | 2023 | 鳴沢真一   | 2026 | 上原文子   | 2027 | 金子恒彦   | 2030 | 三塚 隆  | 2028 | 杉本真理子 | 2025 | 竹内豊和  | 2029 |
| 成田裕夫   | 2027 | 成塚健治   | 2024 | 大平貴臣   | 2031 | 川崎とみ子  | 2028 | 箕輪 保幸 | 2025 | 春原秀一郎 | 2026 | 竹内 進  | 2025 |



# 同窓会本部通信

2024年度会員大会日程、年会費クレジット納付取り扱いについて

上田高校同窓会事務局長 手塚和幸 (78期)

今年度の事業計画が3月理事会にて承認をされ、2024年度会員大会は、10月19日(土)に開催をいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。尚、今年度、81期、86期、91期、96期、101期が当番期となります。

また、毎年8月、会報「古城の門」をお届けする際、ご希望をしておきます。本部分年会費の納入について、関東同窓会と同様に同窓会本部

|        |      |        |      |       |      |            |      |       |      |
|--------|------|--------|------|-------|------|------------|------|-------|------|
| 古澤 拳   | 2025 | 竹内雅典   | 2024 | 近藤弘司  | 2025 | 高橋登美恵      | 2026 | 西澤 尚  | 2024 |
| 水野高夫   | 2036 | 宮下正史   | 2023 | 桜木加代子 | 2023 | 戸島俊一       | 2026 | 西澤澄雄  | 2024 |
| [105期] |      | [94期]  |      | 相馬 真  | 2023 | 中沢直木       | 2024 | 西澤敬夫  | 2025 |
| 古谷亀馬   | 2023 | 藤松 淳   | 2027 | 藤田香織  | 2024 | 服部みどり      | 2025 | 根岸輝美子 | 2025 |
| [106期] |      | [95期]  |      | 堀江恵美  | 2025 | 馬場信明       | 2024 | 根岸 聡  | 2025 |
| 土屋瑞穂   | 2037 | 金井信幸   | 2024 | 真島隆洋  | 2026 | 保科彰治       | 2032 | 花岡和道  | 2024 |
| [107期] |      | 小宮山功一朗 | 2024 | 村上真洋  | 2023 | 堀内康男       | 2024 | 馬場俊彦  | 2028 |
| 甲田英里子  | 2023 | 橋本清香   | 2024 | 山下知子  | 2025 | 水出裕幸       | 2023 | 早坂ゆかり | 2024 |
| [109期] |      | [96期]  |      | 【86期】 |      | 毛利 元晶      | 2024 | 堀内嗣浩  | 2025 |
| 櫻井美紀   | 2023 | 青木康史   | 2026 | 阿部貴子  | 2024 | 森 (四方) ゆかり | 2025 | 松尾 弘  | 2025 |
| [113期] |      | 依田 薫   | 2023 | 市川 宏  | 2024 |            |      | 松木富士子 | 2024 |
| 武井愛衣   | 2023 | [97期]  |      | 井上浩一  | 2026 | 横関正人       | 2024 | 丸山 修  | 2025 |
| 西村和真   | 2023 | 石森博行   | 2032 | 太田 仁  | 2024 | 【82期】      |      | 丸山松弥  | 2024 |
| [114期] |      | 依田久美子  | 2025 | 佐藤美那子 | 2023 | 井出 智       | 2026 | 三宅吾吾  | 2031 |
| 林 奈南   | 2023 | [99期]  |      | 関 良基  | 2024 | 荻野 健       | 2026 | 門司靖子  | 2025 |
| [115期] |      | 池田美保   | 2024 | 滝澤郁雄  | 2048 | 加藤民幸       | 2032 | 両澤克彦  | 2025 |
| 小林公哉   | 2023 | 金井一磨   | 2026 | 中沢信明  | 2026 | 川口浩一       | 2025 | 両角 豊  | 2023 |
| 山極優希   | 2024 | 窪田健志   | 2032 | 西川美香子 | 2023 | 笹沢 和子      | 2023 | 山田義治  | 2023 |
| [116期] |      | 千野理彦   | 2025 | 沼田晴夫  | 2024 | 重藤知夫       | 2028 | 山本雅人  | 2025 |
| 池田侑弥   | 2023 | 塚田 学   | 2026 | 三好英次  | 2023 | 清水るりこ      | 2024 | 若林勇文  | 2025 |
| 横須賀まりな | 2025 | 永井洋平   | 2023 | 吉池有司  | 2036 | 滝沢裕雄       | 2024 | 【80期】 |      |
| [117期] |      | 矢島好太郎  | 2023 | 【87期】 |      | 竹鼻健司       | 2023 | 會田信子  | 2037 |
| 柳澤理乃   | 2023 | 渡辺敏央   | 2027 | 太田隆博  | 2024 | 西澤知樹       | 2026 | 青木琢也  | 2023 |
| [118期] |      | 【100期】 |      | 北村玲子  | 2031 | 長谷川浩       | 2024 | 新井晶子  | 2029 |
| 北島若葉   | 2023 | 甲田英史   | 2026 | 窪田直温  | 2026 | 平松佳子       | 2024 | 飯窪暎子  | 2026 |
| 林 亮太   | 2023 | 澤田みつ子  | 2023 | 新保一彦  | 2023 | 古谷由美子      | 2024 | 五十嵐剛  | 2025 |
| [119期] |      | 關 雅之   | 2031 | 関和 一  | 2026 | 堀田きよみ      | 2024 | 石黒久仁子 | 2024 |
| 原田佳音   | 2024 | 滝澤成晃   | 2024 | 田中正暁  | 2024 | 箕輪博康       | 2024 | 伊藤英明  | 2026 |
| [120期] |      | 田中篤志   | 2025 | 永井 博  | 2024 | 宮下正巳       | 2033 | 今井隆志  | 2023 |
| 竹内千尋   | 2026 | 中川央充   | 2025 | 【88期】 |      | 森いずみ       | 2024 | 窪田嘉幸  | 2025 |
| [121期] |      | 【101期】 |      | 柏木美和  | 2027 | 山口治美       | 2027 | 久保山和彦 | 2027 |
| 丸山優香   | 2026 | 青木 史   | 2024 | 田中直樹  | 2026 | 【83期】      |      | 熊野忠則  | 2028 |
|        |      | 佐藤春樹   | 2027 | 中越陽子  | 2024 | 五十嵐恵子      | 2025 | 倉沢 徹  | 2023 |
|        |      | 山極佳代子  | 2023 | 中島数晃  | 2030 | 内川 智       | 2023 | 小林 章  | 2023 |
|        |      | 山崎龍也   | 2023 | 溝口節子  | 2023 | 榎本かおる      | 2028 | 小林敬昌  | 2026 |
|        |      | 【102期】 |      | 三井正樹  | 2026 | 尾添静子       | 2029 | 小山修一  | 2023 |
|        |      | 興水理美   | 2025 | 【89期】 |      | 倉島茂樹       | 2031 | 櫻井規喜  | 2023 |
|        |      | 齋藤昌志   | 2025 | 小池拓成  | 2023 | 栗林佳紀       | 2023 | 鈴木巳季  | 2030 |
|        |      | 島田瑞希   | 2025 | 小林幸治  | 2027 | 甲田輝久       | 2024 | 相馬 淳  | 2024 |
|        |      | 【103期】 |      | 関 祐一  | 2024 | 村主紀子       | 2023 | 龍野和徳  | 2023 |
|        |      | 大谷真宙   | 2024 | 野澤郁子  | 2025 | 西澤 厚       | 2023 | 辻 良美  | 2025 |
|        |      | 小岩井聡美  | 2032 | 【90期】 |      | 廣松さゆり      | 2023 | 土屋陽子  | 2023 |
|        |      | 澤 大輔   | 2025 | 飯田茂幸  | 2024 | 藤澤賢治       | 2025 | 中沢尚之  | 2024 |
|        |      | 竹村淳一   | 2025 | 佐藤一道  | 2023 | 松尾宗一       | 2023 | 中野健治  | 2033 |
|        |      | 中澤一宏   | 2024 | 鈴木 礼  | 2026 | 三木美和       | 2029 | 成田まゆみ | 2024 |
|        |      | 屋代 有   | 2026 | 中曾根慶  | 2024 | 宮島克仁       | 2023 | 西沢志信  | 2023 |
|        |      | 山崎咲保里  | 2026 | 中村妙子  | 2025 | 山崎 泰       | 2023 | 西谷江美  | 2024 |
|        |      | 依田秀男   | 2024 | 成田哲博  | 2024 | 若林 努       | 2024 | 長谷川剛  | 2030 |
|        |      | 【104期】 |      | 増澤吉和  | 2023 | 【84期】      |      | 花井克之  | 2032 |
|        |      | 荒井恵理奈  | 2024 | 【91期】 |      | 児玉直美       | 2025 | 花岡 健  | 2024 |
|        |      | 有賀 創   | 2024 | 高橋麻子  | 2026 | 小林数宏       | 2023 | 原 久美  | 2027 |
|        |      | 石川翔太   | 2026 | 滝澤綾子  | 2024 | 小林満奈美      | 2023 | 三木睦実  | 2023 |
|        |      | 香山雅子   | 2023 | 【92期】 |      | 小林 剛       | 2025 | 宮原浩貴  | 2029 |
|        |      | 川合健治   | 2025 | 河東田美恵 | 2025 | 中沢文茂       | 2029 | 矢ヶ崎毅  | 2026 |
|        |      | 小林 優   | 2023 | 小林則雄  | 2024 | 原島麻生美      | 2023 | 柳沢孝之  | 2023 |
|        |      | 清水文隆   | 2025 | 小山 勇  | 2023 | 松本優樹       | 2027 | 山崎まゆみ | 2025 |
|        |      | 高柳賢治   | 2025 | 翠川哲也  | 2027 | 【85期】      |      | 【81期】 |      |
|        |      | 寺島亞希   | 2032 | 【93期】 |      | 内田久美子      | 2024 | 岡部伸宏  | 2024 |
|        |      | 中村由唯   | 2025 | 小川原正道 | 2023 | 尾和正登       | 2023 | 亀澤 久  | 2028 |
|        |      | 藤井あづみ  | 2023 | 阪下千恵  | 2024 | 小須田武志      | 2024 | 児玉陸美  | 2024 |

でも昨年8月よりクレジットカード決済での取り扱いが可能となっております。一般社団法人上田高等学校同窓会「HP」のリンク先からまたはQRコードをスマートフォンで読み込んで「上田高等学校同窓会年会費納入サイト」にお入りいただけます。いつでもどこでもパソコン、スマートフォンで簡単に納入ができますので、ご利用下さい。納入いただいた年会費は同窓会活動はもとより、母校の教育振興のため活用させていただきますので、引き続き、より多くの皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



石森法律事務所 ISHIMORI LAW OFFICE

弁護士 石森 博行 (97期)

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-1-2  
トラッセルズ102号 石森法律事務所  
TEL: 0422-24-7722 FAX: 050-3737-6939  
E-mail: hiroyuki.ishimori@ishimori-lo.com  
Website: https://www.ishimori-law-office.com/



エミライン社会保険労務士法人

“経営者・従業員”皆様の笑顔ある未来へ

企業の経営資源である「ヒト」の問題・課題について、  
スタッフ一丸となって貴社の経営をサポートいたします

社会保険労務士 依田 久美子 (97期)

〒106-0031 東京都港区西麻布1-3-16 池田ビル  
TEL: 03-3408-0771 FAX: 03-5474-0013  
URL: https://www.emiline-sr.com/  
E-mail: info@emiline-sr.com





## 年会費納入キャンペーンの結果のご報告 対象期 70 人の皆様から納入をいただきました！

会計長 長坂武見 (72期)

2023年度も12月から3月  
末まで年会費納入キャンペーン  
を実施しました。

今年度は「年会費納入のお願い」の送付方法・対象期の変更を行いました。昨年度までは文書で郵送するという方法で行っていましたが、コスト削減のためメール送付の方法に変えました。12月にメールアドレスの登録のある83期から120期の会員48人に対して、会長・幹事長・会計長の名前で「納入のお願い」をメールで送付し納入促進を働きかけました（昨年度は69期および対象期の12月71期から82期）。以前8カ月の納入金額よりその後2カ月の納入金額が増加するという成果が出ましたが、元々

納入の少ない対象期ということもあり十分な金額ではありませんでした。

そこで2月に、対象期を追加して69期から82期までのメールアドレスの登録のある会員389人に対して「納入のお願い」をメールで送付しました。一定の成果は表れたものの予算に届かない可能性があったため、更に3月になって69期から82期の一部役員から納入のお願いのメールを追加で送付しました。

その結果キャンペーン期間に対象期合計で70人から410千円の年会費を納入いただき、合計の年会費収入が予算を超過することができました。ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。そしてキャンペーン期間以外に年会費を納入いただいた皆様にもこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今後のキャンペーンは郵送費用等削減のために、メールでの依頼を継続する予定です。また、メールアドレス登録の皆様へは、本件以外の同窓会からのお知らせや各種イベント情報などをタイムリーにお届けすることを検討中です。会員の皆様におかれましてはメールアドレスの登録をお願いいたします。関東同窓会へのメールアドレスの

連絡方法は次の通りです。  
・ 関東同窓会のホームページ（同窓会への連絡↓同窓会への連絡フォーム）  
・ 左記クレジットカードでの年会費等支払いの際にメールアドレス登録  
・ 会報配布電子化のメールアドレス登録  
（ただし対象期の登録のみ）  
ところで、昨年度から導入しましたクレジットカード払いの年会費・寄付金納付システムは、1年間で120人が利用し755千円を納入いただきました。人数、金額とも年会費・寄付金納入額合計の20%を超える割合となっております。利用者からはスマホやパソコンでいつでも簡単に支払い手続きができると好評です。ぜひ多くの皆様にご利用いただけますようお願い申し上げます。

※右のQRコード、または関東同窓会のホームページから、支払いサイトに入りましたら必ずURLをご確認ください。正しいURLは次のとおりです。  
<https://uedakant-sakura.rakun.jp/>



## 会報配布電子化（試行）の進捗報告

広報委員会 委員長 荻原貴 (79期)

既にご案内のように、若手会員を中心とする要望、コスト削減、並びにエコ対策として、現在90期以降の皆様を対象に会報配布電子化の試行中です。

2024年3月末時点での会報配布電子化（以下、電子化）への登録者は、会報106号までで102人、会報107号で59人、会報108号で32人、合計193人です。また、この電子化の試行を開始する際に、パイロット試行として81期の皆さま39人に登録の協力をいただきました。これを加えると、現在合計232人が電子化を利用中で、特に問題もなく順調に推移しています。今後もう少し今の条件で試行を重ねながら、電子化の対象期拡大及び「試行」から「本格実施」への移行を図る予定です。電子化を本格実施した場合も、希望者へは従来の「紙配布」を継続します。

なお、電子化登録済みの皆さまにつきましては、引き続き年会費納入もお願い申し上げます。

90期以降で電子化の登録手続きがお済みでない皆さまは、関東同窓会ホームページ（同窓会への連絡→同窓会への連絡フォーム）で随時登録申し込みを受け付けていますので、どうぞご利用ください。電子化を登録された皆さまへは本同窓会からのお知らせや各種イベント情報などをタイムリーにお届けすることも検討中です。（注意：1.この電子化の登録はあくまでもご本人の希望によるものです。2.次号会報（109号・2025年1月発行）から電子化ご希望の場合は、2024年7月末までに登録申し込みをお願いします）

| 会報配布電子化（試行）の登録推移 |       |
|------------------|-------|
| 81期（パイロット登録）     | 39人①  |
| 90期以降            |       |
| ・会報106号まで        | 102人  |
| ・会報107号          | 59人   |
| ・会報108号          | 32人   |
| 90期以降の合計         | 193人② |
| 合計（①+②）          | 232人  |

# 2023年度会務報告案

(2023年4月1日)

(2024年3月31日)

## ▼全般

コロナ禍が漸く終息し以前の形式での同窓会活動に戻すことができた。一部はコロナ対策で習得したりリモート会議を取り入れ、予定された行事、会議は全て実施することができた。

## ▼第62回総会・講演会・懇親会

2023年6月24日如水会館にて開催。75期を中心とした実行委員が運営を担当。コロナ禍以前の形式で開催し、来賓を含めて193名が参加した。金吉晴さん(75期)の講演、母校吹奏楽班の演奏会、4年ぶりの立食形式の食事会(懇親会)を行い、最後に校歌を高らかに斉唱した。

## ▼2024年新年会

2024年1月20日喜山倶楽部(日本教育会館)にて開催。小林公哉さん(115期)のピアノ演奏とスネアドラムの演奏会を楽しんだ。引き続き、立食形式の食事会(懇親会)を行った。参加者は76名。

## ▼諸活動

・ゴルフコンペを10月25日(第40回記念大会、小金井CC)に開催。  
 ・名画貸し切り鑑賞会(銀座「TCC試写室」にて「ひまわり」と食事会を7月8日に開催。参加者17名。  
 ・赤松小三郎研究会の講演会を11月26日に開催。参加者103名。

・女性同窓生の会(昼食会)を3月30日に開催。参加者13名。  
 ▼会報  
 5月下旬に第106号、12月下旬に第107号を発行した。

## ▼年会費納入状況

年会費納入キャンペーンを実施し、2,542,000円で予算比102%と予算を達成した。(前年比98%)

## ▼基金活用事業

300,000円繰り入れ予算に対して、吹奏楽班招聘費用などに使用した。

# 2024年度会務計画案

(2024年4月1日)

(2025年3月31日)

## ▼第63回総会・講演会・懇親会

6月29日(土)如水会館にて開催予定。実行委員は76期、81期が中心。

## ▼2025年新年会

1月18日(土)喜山倶楽部(日本教育会館)にて開催予定。

## ▼諸活動

・ゴルフコンペを4月と10月に開催予定。  
 ・赤松小三郎研究会の講演会を11月に開催予定。

## ▼会報

5月下旬に第108号、12月下旬に第109号を発行予定。

## ▼基金活用事業

300,000円繰り入れ、第63回総会へのアトラクション費用、年会費納入促進活動、新年会アトラクション費用に活用予定。

## 2023年度決算案 (2023年4月1日～2024年3月31日)

単位:円

| 収入の部   |           |           |         |
|--------|-----------|-----------|---------|
| 科目     | 予算        | 決算        | 差額      |
| 前期繰越金  | 2,046,792 | 2,046,792 | 0       |
| 総会費収入  | 1,750,000 | 1,727,691 | -22,309 |
| 会報広告料  | 950,000   | 870,000   | -80,000 |
| 年会費収入  | 2,500,000 | 2,542,000 | 42,000  |
| 会議費収入  | 950,000   | 924,221   | -25,779 |
| 寄付金収入  | 650,000   | 669,500   | 19,500  |
| 雑収入    | 0         | 0         | 0       |
| 受取利息収入 | 0         | 10        | 10      |
| 基金より繰入 | 300,000   | 300,000   | 0       |
| (小計)   | 7,100,000 | 7,033,422 | -66,578 |
| 合計     | 9,146,792 | 9,080,214 | -66,578 |

| 支出の部    |           |           |          |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 科目      | 予算        | 決算        | 差額       |
| 総会費     | 2,000,000 | 2,123,735 | 123,735  |
| 会報費     | 2,450,000 | 2,489,651 | 39,651   |
| 交通費     | 170,000   | 160,685   | -9,315   |
| 通信費     | 40,000    | 44,292    | 4,292    |
| 会議費     | 1,100,000 | 1,338,162 | 238,162  |
| 渉外費     | 150,000   | 166,875   | 16,875   |
| 印刷費     | 20,000    | 5,738     | -14,262  |
| 事務費     | 700,000   | 749,905   | 49,905   |
| 雑費      | 120,000   | 171,604   | 51,604   |
| 委員会推進費  | 50,000    | 32,070    | -17,930  |
| 基金活用事業費 | 300,000   | 300,000   | 0        |
| (小計)    | 7,100,000 | 7,582,717 | 482,717  |
| 次期繰越金   | 2,046,792 | 1,497,497 | -549,295 |
| 合計      | 9,146,792 | 9,080,214 | -66,578  |

## 2024年度予算案 (2024年4月1日～2025年3月31日)

単位:円

| 収入の部   |           |           |          |
|--------|-----------|-----------|----------|
| 科目     | 2024年度予算  | 2023年度決算  | 差額       |
| 前期繰越金  | 1,497,497 | 2,046,792 | -549,295 |
| 総会費収入  | 1,800,000 | 1,727,691 | 72,309   |
| 会報広告料  | 900,000   | 870,000   | 30,000   |
| 年会費収入  | 2,600,000 | 2,542,000 | 58,000   |
| 新年会費収入 | 580,000   | 541,000   | 39,000   |
| 会議費収入  | 410,000   | 383,221   | 26,779   |
| 寄付金収入  | 700,000   | 669,500   | 30,500   |
| 雑収入    | 0         | 0         | 0        |
| 受取利息収入 | 10        | 10        | 0        |
| 基金より繰入 | 300,000   | 300,000   | 0        |
| (小計)   | 7,290,010 | 7,033,422 | 256,588  |
| 合計     | 8,787,507 | 9,080,214 | -292,707 |

| 支出の部    |           |           |          |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 科目      | 2024年度予算  | 2023年度決算  | 差額       |
| 総会費     | 2,070,000 | 2,123,735 | -53,735  |
| 会報費     | 2,450,000 | 2,489,651 | -39,651  |
| 交通費     | 160,000   | 160,685   | -685     |
| 通信費     | 40,000    | 44,292    | -4,292   |
| 新年会費    | 530,000   | 652,791   | -122,791 |
| 会議費     | 640,000   | 685,371   | -45,371  |
| 渉外費     | 155,000   | 166,875   | -11,875  |
| 印刷費     | 5,000     | 5,738     | -738     |
| 事務費     | 750,000   | 749,905   | 95       |
| 雑費      | 160,000   | 171,604   | -11,604  |
| 委員会推進費  | 30,000    | 32,070    | -2,070   |
| 基金活用事業費 | 300,000   | 300,000   | 0        |
| (小計)    | 7,290,000 | 7,582,717 | -292,717 |
| 次期繰越金   | 1,497,507 | 1,497,497 | 10       |
| 合計      | 8,787,507 | 9,080,214 | -292,707 |

(注) これまでの会議費収入・会議費を新年会費収入と会議費収入・新年会費と会議費に分けて表示しました

## 運営基金 (2023年度決算案)

単位:円

| 科目   | 前期繰越      | 当期収入 | 当期支出    | 期末残高      |
|------|-----------|------|---------|-----------|
| 運営基金 | 9,752,863 | 0    | 300,000 | 9,452,863 |
| 同利息  | 0         | 74   | 0       | 74        |
| 合計   | 9,752,863 | 74   | 300,000 | 9,452,937 |

## 運営基金 (2024年度予算案)

単位:円

| 科目   | 前期繰越      | 当期収入 | 当期支出    | 期末残高      |
|------|-----------|------|---------|-----------|
| 運営基金 | 9,452,937 | 0    | 300,000 | 9,152,937 |
| 同利息  | 0         | 70   | 0       | 70        |
| 合計   | 9,452,937 | 70   | 300,000 | 9,153,007 |

## 運営基金・一般会計総括表 (2024年3月31日現在)

単位:円

| 科目           | 金額         | 科目    | 金額         |
|--------------|------------|-------|------------|
| 定期預金(スーパー定期) | 9,292,973  | 運営基金  | 9,452,937  |
| 普通預金         | 159,964    |       |            |
| 郵便振替口座       | 673,662    | 次期繰越金 | 1,308,529  |
| 普通預金(口座振替用)  | 601,967    |       |            |
| 現金           | 32,900     |       |            |
| 合計           | 10,761,466 |       | 10,761,466 |

(注) クレジットカードによる年会費収入等の3月中支払い分188,968円は3月31日現在未収入金として処理しています  
 定期預金/普通預金 : みずほ銀行 兜町支店  
 郵便振替口座 : 日本橋郵便局  
 普通預金 : 三菱UFJ銀行 新丸の内支店





# 寄付者／寄付グループ

2023年10月1日～2024年3月31日  
(前回未報告分を含む)

## ご協力ありがとうございました!

| 期  | 氏名   | 金額(円)  | 期  | 氏名   | 金額(円)  | 期  | 氏名    | 金額(円)  | 期  | 氏名    | 金額(円)  | 期  | 氏名   | 金額(円)   |
|----|------|--------|----|------|--------|----|-------|--------|----|-------|--------|----|------|---------|
| 48 | 小松昭蔵 | 5,000  | 57 | 箱山 雍 | 10,000 | 62 | 秋田 勇  | 3,000  | 72 | 青沼 泉  | 2,000  | 75 | 宮島省吾 | 2,000   |
| 49 | 小林恒雄 | 2,000  | 57 | 宮下廣勝 | 2,000  | 63 | 山浦善樹  | 2,000  | 72 | 奥山利幸  | 12,000 | 76 | 鳴沢真一 | 2,000   |
| 49 | 風間 充 | 5,000  | 57 | 高木佳年 | 3,000  | 63 | 内藤秀気  | 1,000  | 72 | 田中 誠  | 2,000  | 77 | 佐藤一男 | 4,000   |
| 49 | 翠川 輝 | 2,000  | 57 | 本田 健 | 2,000  | 64 | 小林武男  | 5,000  | 72 | 長坂武見  | 36,000 | 79 | 荻原 貴 | 18,000  |
| 50 | 竹内啓爾 | 2,000  | 58 | 本田祥治 | 2,000  | 65 | 上原 昇  | 17,000 | 72 | 渡邊温子  | 2,000  | 79 | 坂田尚美 | 2,000   |
| 50 | 小山邦介 | 5,000  | 58 | 宮原清明 | 2,000  | 65 | 丸山暢久  | 2,000  | 72 | 小宮山修邦 | 5,000  | 79 | 小林優子 | 5,000   |
| 51 | 保坂利勝 | 2,000  | 59 | 有賀勝雄 | 5,000  | 65 | 宮原 豊  | 5,000  | 72 | 青沼 泉  | 30,000 | 80 | 會田信子 | 2,000   |
| 51 | 蒲生卓磨 | 5,000  | 59 | 小林芳友 | 2,000  | 66 | 北澤英男  | 3,000  | 72 | 村田耕作  | 1,000  | 80 | 鈴木巳季 | 2,000   |
| 53 | 尾崎俊朗 | 20,000 | 60 | 鷹野芳機 | 8,000  | 66 | 田口 博  | 3,000  | 72 | 矢島基美  | 20,000 | 80 | 花井克之 | 2,000   |
| 53 | 井澤 保 | 2,000  | 60 | 福嶋 宣 | 12,000 | 67 | 松本哲夫  | 2,000  | 72 | 関 博明  | 2,000  | 81 | 横関正人 | 1,000   |
| 53 | 須田武久 | 2,000  | 60 | 田中一穂 | 10,000 | 68 | 尾台孝男  | 2,000  | 73 | 梅原裕子  | 1,000  | 81 | 毛利元晶 | 3,000   |
| 53 | 坂口茂廣 | 5,000  | 60 | 池田 清 | 10,000 | 68 | 碓田 茂  | 4,000  | 73 | 竹淵賢一  | 3,000  |    | 匿名希望 | 4,000   |
| 54 | 石井光春 | 12,000 | 60 | 香掛行徳 | 4,000  | 69 | 池田有美子 | 2,000  | 73 | 橋詰富博  | 20,000 |    | 匿名希望 | 10,000  |
| 54 | 倉島 彰 | 3,000  | 61 | 滝澤 進 | 9,000  | 69 | 桑原邦寿  | 2,000  | 74 | 戸塚誠一  | 2,000  |    |      |         |
| 54 | 藤村延魚 | 3,000  | 62 | 岩井重一 | 10,000 | 69 | 依田隆文  | 2,000  | 75 | 金 吉晴  | 30,000 |    |      |         |
| 55 | 長峰道明 | 5,000  | 62 | 川上千明 | 2,000  | 69 | 古畑克巳  | 2,000  | 75 | 小泉行徳  | 2,000  |    |      |         |
| 56 | 成田邦夫 | 4,000  | 62 | 田島善光 | 1,000  | 69 | 桑原邦寿  | 5,000  | 75 | 田中賢治  | 2,000  |    |      |         |
| 56 | 神津 進 | 2,000  | 62 | 高梨奉男 | 6,000  | 69 | 近藤正昭  | 13,000 | 75 | 関口徹雄  | 2,000  |    | 合計   | 492,000 |

## 訃報

### 心よりお悔やみ申し上げます

| 期  | 氏名    | 逝去日         | 期  | 氏名     | 逝去日         | 期  | 氏名     | 逝去日         | 期  | 氏名    | 逝去日         |
|----|-------|-------------|----|--------|-------------|----|--------|-------------|----|-------|-------------|
| 42 | 白田 祥二 | 2023年4月4日   | 52 | 佐藤 健一  | 2023年8月25日  | 56 | 堀 英三   | 2023年1月10日  | 61 | 細萱 英久 | 2023年5月28日  |
| 44 | 中村 強  | 2023年6月15日  | 52 | 和泉 民人  | 2023年11月7日  | 56 | 安田 明   | 2023年12月5日  | 62 | 丸山 茂  | 2023年10月19日 |
| 46 | 水澤 博  | 2023年1月24日  | 52 | 新保 知右喜 | 2023年7月8日   | 57 | 田沢 雄二郎 | 2023年10月12日 | 62 | 宮島 佑吉 | 2023年1月25日  |
| 46 | 相澤 忠一 | 2023年6月26日  | 53 | 水出 昭嘉  | 2023年5月     | 57 | 望月 英明  | 2023年10月12日 | 64 | 竹中 司  | 2023年8月31日  |
| 48 | 今井 正明 | 2023年6月12日  | 54 | 山崎 茂幸  | 2023年5月5日   | 58 | 林 嘉市   | 2024年1月16日  | 65 | 田尻 英敏 | 2024年1月22日  |
| 48 | 中澤 利雄 | 2023年6月11日  | 55 | 和田 守   | 2023年11月14日 | 59 | 阿部 真之亮 | 2023年9月5日   | 68 | 清水 英昭 | 2022年10月15日 |
| 50 | 金井 忠雄 | 2022年11月04日 | 56 | 新沼 惇雄  | 2023年1月13日  | 60 | 齋藤 建次  | 2023年2月     | 69 | 土屋 良一 | 2023年10月07日 |

### 編集後記

元日の能登半島地震は、自然は人間の都合など関係なしに動いているのだと気がかされた。はて。ウクライナ、中東、ミャンマー、戦争や紛争は人間の都合ではなからうか。防げないものと防げるもの▼今年は波乱の幕開けでした。うえだ人で取材した鳥海さんは、AIなどの登場によって時代はどんどん変化していく。新しい時代についていけるように一緒に頑張りましょう、と話していました。皆さん、いかがでしたか▼今回もなんとか会報をお届けできました。楽しんでいただけましたら。

(中村和久)

### 鶴岡慧子さん(105期)に芸術選奨文科大臣新人賞

文化庁から令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣賞、同新人賞の発表があり、映画部門で、映画監督で同窓の鶴岡慧子さん(105期)に文部科学大臣新人賞が贈られました。

贈賞理由として文化庁は「バカ丁寧」に48工程の手間をかけて生み出される漆器『津軽塗』は『バカ塗り』と呼ばれる。この伝統工芸を継ぐとする娘をじっと見つめる映画『バカ塗りの娘』では、鶴岡慧子氏の胆力に感服させられるとともに、映画もまた、手間暇のかかる、人の手による創作物であることに改めて気付かされる。どつしりと揺るがず伝統を継ぐ氏への期待は高まる」としています。

KONDO TAX ACCOUNTANT OFFICE


**こんどう税理士事務所**  
 相続・保険・不動産に強い税理士事務所

税理士 **近藤 弘司** (85期)

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山936号室  
【最寄りの交通機関】 銀座線・半蔵門線 青山一丁目駅から徒歩3分  
 Tel : 03-6455-4630 E-mail : kondoh.tax@gmail.com

<https://www.kondoh-tax.com>

**桜が丘内科クリニック**

**院長 關 雅之 (100期)**  
 医学博士 リウマチ専門医

〒207-0022 東京都東大和市桜が丘 2-204-3  
 TEL 042-569-8632 FAX 042-569-8634  
 Web <https://sakuragaoka-naika.com>  
 Mail masa-seki@sakuragaoka-naika.com



## AIで社会を覗く

東京大学教授 鳥海不二夫さん (93期)

今回登場していただくのは東京大学で教授として活躍する鳥海不二夫さんです。東京都文京区にある本郷キャンパスで話を伺いました。

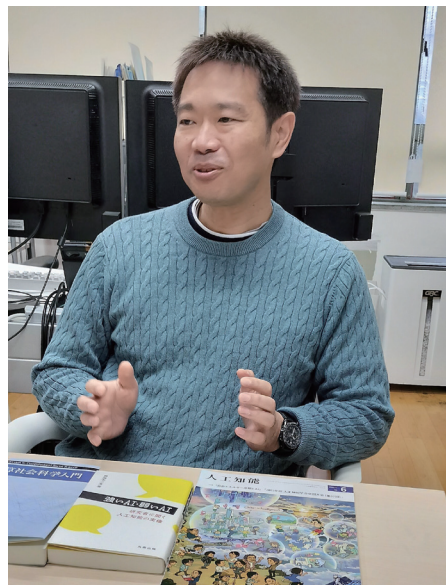
☆☆☆

高校時代の思い出というと、もうずいぶん前なので覚えていることも多くないですが。高校時代は弓道部に所属していました。ちょうど一年生の時に校内に弓道場ができましたので、班活で上田公園の弓道場まで通っていた最後の世代でした。高校生活では班活動が一番楽しかった思い出です。3年のときは受験を意識して、授業よりも受験勉強を中心に勉強していました。といっても受験勉強に真面目だったのか、単に学校の授業をさぼりたかただけなのかは微妙なところでしたけど。授業で印象に残っていることは、3年生の最後の方で物理の先生が授業とは関係ないけれど、質量とエネルギーの等価性を示す  $E=mc^2$  を導出する式を解説してくれたことです。物理学においてとても重要な式が、実は高校生でも理解できるレベルの式変形で導出できるということに感動しました。そういった受験と関係ない知識を教えてくれる先生も多くいたことが、良い思い出です。

卒業してから東京工業大学に入学し、ロボットを作ってみたかったので制御シ

ステム工学科に入りました。しかし、ロボットはなかなか言う事を聞いてくれず大変だったため、大学院ではロボットはやめて人間の感覚を分析する計量心理学を研究し博士号を取得しました。

今は計算社会学という人間社会そのものを対象とした文理融合型の研究をしています。これは社会科学という学問分野にコンピューターサイエンスや人工知能の技術を導入することで、今まで研究が困難だった分析をできるようにしていく研究分野です。人工知能という新しい技術を使って社会の謎を解いていこうとしていると言っても良いかもしれません。例えば現在社会において大きな問題となっているものの一つに、フェイクニュースがあります。なぜそのような情報が拡散してしまうのか、どうやれば拡散を食い止められるのか、そして何より社会において生じるさまざまな現象が何故起きるのか、それをデータに基づいて理解していくことを目指しています。我々の視線は広いようで意外と狭いものです。全体の一部を見て分かったつもりになってしまうことはよくありますが、全体を網羅するデータを扱うことでより広い視野を手に入れることができます。こうだと思いついていたことがデータを調べたら全く違った、ということがよくあり、今ま



で誰も気づかなかった秘密を発見する喜びを味わうことができることがこの研究の醍醐味の一つです。天体望遠鏡の発展が宇宙の謎を解明していったように、データと人工知能の発展が人間社会の謎を今後解き明かしていくようになることを期待しています。

私の研究分野では理系の技術と文系の知識の両方が必要となります。後輩の皆さんには、文系とか理系とかの枠に入らない学問分野もあることを知っていただいで、理系だから、文系だからと考えずに大学でいろいろ知見を広げてほしいと思います。そしていつか私の授業を受け

に来てくれると嬉しいです。

☆☆☆

朗らかに語っていた鳥海さんが印象的でした。

(構成・鳥海さん、取材日：2024.4.5、編集長・中村和久)



鳥海さんの著書

### 住所変更があったらいずれかでご連絡ください

- ① 関東同窓会ホームページ「同窓会への連絡」から  
(個人情報は厳重に管理しております)
- ② 関東同窓会日本橋事務所へ 電話：03-5201-3979
- ③ 同期の代表幹事へ

### ホームページをご活用下さい

関東同窓会のホームページ (<https://uedakant.sakura.ne.jp/>) には毎日たくさんのアクセスがあります。IT推進委員会経由で関東同窓会の活動や会員の動向などの頻度の高い情報発信を心掛けています。ぜひご活用ください。

